



# 滋賀県立大学 2019年度

## 講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

# 目 次

1110181	英語	A (活性化コース)	(看護)	鈴木 里奈	前期	1
1110182	英語	B (活性化コース)	(看護)	鈴木 里奈	後期	3
1110191	英語	A (活性化コース)	(看護)	鈴木 里奈	前期	5
1110192	英語	B (活性化コース)	(看護)	鈴木 里奈	後期	7
1110391	英語	A (応用コース)	(看護)	Ashley Stevens	前期	9
1110392	英語	B (応用コース)	(看護)	Ashley Stevens	後期	11
1110401	英語	A (応用コース)	(看護)	Ashley Stevens	前期	13
1110402	英語	B (応用コース)	(看護)	Ashley Stevens	後期	15
1110591	英語	A (充実コース)	(看護)	西澤 裕一	前期	17
1110592	英語	B (充実コース)	(看護)	西澤 裕一	後期	19
1110601	英語	A (充実コース)	(看護)	市場 史哉	前期	21
1110602	英語	B (充実コース)	(看護)	市場 史哉	後期	23
1110801	英語	A (展開コース)	(看護)	渡 寛法	前期	25
1110802	英語	B (展開コース)	(看護)	渡 寛法	後期	27
1110811	英語	A (展開コース)	(看護)	渡 寛法	前期	29
1110812	英語	B (展開コース)	(看護)	渡 寛法	後期	31
1130070	情報リテラシー	(情報倫理を含む)	(看護a)	森 將豪	前期	33
1130080	情報リテラシー	(情報倫理を含む)	(看護b)	森 將豪	前期	35
1130180	情報科学概論	(看護a)	森 將豪	後期	37	
1130190	情報科学概論	(看護b)	森 將豪	後期	39	
1150340	人間探求学(人間看護)	学科教員		前期	41	
1500061	母性看護学概論	岩谷 久美子		後期後半	43	
1500062	母性看護学	渡邊 友美子		前期	45	
1500063	母性看護学演習	渡邊 友美子		前期	47	
1500064	母性看護学実習	岩谷 久美子		通年実習	49	
1500080	疫学	趙 林		後期	51	
1500081	エンドオブライフケア演習	糸島 陽子		前期	53	
1500082	エンドオブライフケア実習	喜多下 真里		通年実習	55	
1500083	家族看護学	大脇 万起子		前期	57	
1500105	解剖生理学	安原 治		前期	59	
1500115	解剖生理学	安原 治		後期	61	
1500121	看護英語	安原 治		前期	63	
1500123	看護英語実践	牧野 耕次		後期集中	65	
1500125	生化学	若林 保良		前期前半	67	
1500129	看護管理学	米田 照美		前期前半	69	
1500142	看護キャリアデザイン論	横井 和美		前期	71	
1500143	看護教育と実践	米田 照美		前期集中	73	
1500145	看護研究の基礎	古株 ひろみ		通年集中	75	
1500161	看護トピックス	甘佐 京子		前期	77	
1500162	看護理論(看護学部)	米田 照美		後期	79	
1500163	基礎看護学実習	伊丹 君和		前期実習	81	
1500164	基礎看護学実習	米田 照美		前期実習	83	
1500165	基礎看護技術	伊丹 君和		前期	85	
1500166	基礎看護技術	伊丹 君和		後期	87	
1500167	基礎看護技術	伊丹 君和		前期	89	
1500168	基礎看護技術	米田 照美		前期	91	
1500181	クリティカルケア実践演習	荒川 千登世		前期	93	
1500195	病理学	安原 治		後期	95	
1500205	微生物学	北川 善紀		前期	97	
1500212	健康教育論	小島 亜未		前期	99	
1500213	公衆衛生学(看護)	草野 文嗣		前期	101	
1500214	公衆衛生看護学	馬場 文		前期	103	
1500215	公衆衛生看護学	馬場 文		前期後半	105	
1500216	公衆衛生看護学概論	小林 孝子		前期	107	
1500217	国際看護学	近藤 麻理		前期集中	109	
1500221	災害看護学	増尾 佳苗		前期集中	111	
1500222	在宅看護学演習	森本 安紀		前期	113	
1500223	在宅看護学概論	河野 益美		前期前半	115	
1500225	在宅看護学実習	森本 安紀		通年実習	117	
1500226	在宅看護学	河野 益美		後期	119	
1500311	疾病論	横井 和美		前期	121	
1500321	小児看護学概論	古株 ひろみ		前期前半	123	
1500325	疾病論	古株 ひろみ		後期	125	
1500326	疾病論	越山 雅文		後期前半	127	
1500327	精神保健論	甘佐 京子		後期	129	
1500328	栄養学	関根 愛莉		後期	131	
1500329	小児看護学	古株 ひろみ		後期	133	
1500345	小児看護学演習	玉川 あゆみ		前期	135	
1500365	小児看護学実習	川端 智子		通年実習	137	
1500452	成人看護学概論	糸島 陽子		後期前半	139	
1500453	成人クリティカルケア演習	荒川 千登世		前期	141	
1500454	成人クリティカルケア実習	生田 宴里		通年実習	143	
1500455	成人クロニックケア演習	横井 和美		後期	145	
1500456	成人クロニックケア実習	中川 美和		通年実習	147	
1500465	成人看護学	横井 和美		前期	149	

1500580	卒業研究(人間看護) 学科教員 通年研究	...	151
1500732	チャイルドライフケア論 古株 ひろみ 前期	...	153
1500734	人間看護学概論 窪田 好恵 前期前半	...	155
1500742	人間看護学統合実習 窪田 好恵 前期実習	...	157
1500841	ボランティア実践演習 伊丹 君和 前期集中	...	159
1500842	ホリスティックケア論 糸島 陽子 前期	...	161
1500844	精神看護学 牧野 耕次 後期	...	163
1500845	精神看護学演習 下通 友美 前期	...	165
1500846	精神看護学実習 牧野 耕次 通年実習	...	167
1500847	精神看護学概論 甘佐 京子 前期後半	...	169
1500941	薬理学 土田 勝晴 前期前半	...	171
1500991	老年看護学概論 平田 弘美 前期	...	173
1500997	老年看護学 未定* 後期	...	175
1500998	老年看護学演習 岡崎 瑞生 前期	...	177
1501032	老年看護学実習 岡崎 瑞生 通年実習	...	179
1501042	老年看護学実習 岡崎 瑞生 通年実習	...	181
1501043	地域生活実習 古株 ひろみ 前期実習	...	183

講義名	英語 A (活性化コース) (看護)						担当教員	鈴木 里奈
講義コード	1110181	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

#### 授業概要

この授業では、英語の4技能を高めることを目的としたレベル別総合教材テキストを使用します。リスニング・スピーキングセッションでは、主に親しみやすい身近なテーマを扱い、それぞれのトピックに関する多様な英語表現を身につけます。また、ナチュラルスピードの英語を繰り返し聴き、音声シャドーイングの練習を通して重要語彙と頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。リーディングセッションでは読み応えのあるパッセージを扱い、異文化に関する知識を身につけながら、語彙・文法力と読解力の向上を図ります。また、英文読解をスピーキング・ライティング活動に発展させ、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどのコミュニケーション活動につなげます。語彙・文法力、リスニング力、英語での思考力、及びスピーキング・ライティング力を含む総合的な英語運用能力を向上させ、アカデミックで専門的な活動に繋がる英語コミュニケーション能力を養うことを目標として授業を進めます。TOEICスコア・アップ対策については配布プリントを使用し、授業の進捗状況に合わせて随時、問題演習を行う予定です。

#### 到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 易しく書かれた500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる。
- (3) はっきりとした発音で、ややゆっくり話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標 (2) 「易しく書かれた500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる」、到達目標 (3) 「はっきりとした発音で、ややゆっくり話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる」についてはディクテーション及び穴埋め式試験を実施します。
レポート課題	0	
上記以外	50	到達目標 (1) 「英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる」についてはReview Tests (2回)を実施します。(20%) 到達目標 (4) 「英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる」についてはディスカッション及びブ

1/3以上欠席した場合は評価の対象としません。

#### 授業外学習

自習用の音声ファイルを活用し、必ずテキストのListening&SpeakingとReading演習の予習をして授業を受けるようにしてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	New Connection <Book 3>	角山 照彦・Melanie Scooter・Courtney Hall	成美堂	978-4-7919-7181-7
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (活性化コース) (看護)						担当教員	鈴木 里奈
講義コード	1110182	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

#### 授業概要

この授業では、英語の4技能を高めることを目的としたレベル別総合教材テキストを使用します。リスニング・スピーキングセッションでは、主に親しみやすい身近なテーマを扱い、それぞれのトピックに関する多様な英語表現を身につけます。また、ナチュラルスピードの英語を繰り返し聴き、音声シャドーイングの練習を通して重要語彙と頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。リーディングセッションでは読み応えのあるパッセージを扱い、異文化に関する知識を身につけながら、語彙・文法力と読解力の向上を図ります。また、英文読解をスピーキング・ライティング活動に発展させ、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどのコミュニケーション活動につなげます。語彙・文法力、リスニング力、英語での思考力、及びスピーキング・ライティング力を含む総合的な英語運用能力を向上させ、アカデミックで専門的な活動に繋がる英語コミュニケーション能力を養うことを目標として授業を進めます。TOEICスコア・アップ対策については配布プリントを使用し、授業の進捗状況に合わせて随時、問題演習を行う予定です。

#### 到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる。
- (3) はっきりとした発音で話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標 (2) 「500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる」、到達目標 (3) 「はっきりとした発音で話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる」についてはディクテーション及び穴埋め式試験を実施します。
レポート課題	0	
上記以外	50	到達目標 (1) 「英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる」についてはReview Tests (2回)を実施します。(20%) 到達目標 (4) 「英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる」についてはディスカッション及びブ

1/3以上欠席した場合は評価の対象としません。

#### 授業外学習

自習用の音声ファイルを活用し、必ずテキストのListening&SpeakingとReading演習の予習をして授業を受けるようにしてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	New Connection <Book 3>	角山 照彦・Melanie Scooter・Courtney Hall	成美堂	978-4-7919-7181-7
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (活性化コース) (看護)						担当教員	鈴木 里奈
講義コード	1110191	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

#### 授業概要

この授業では、英語の4技能を高めることを目的としたレベル別総合教材テキストを使用します。リスニング・スピーキングセッションでは、主に親しみやすい身近なテーマを扱い、それぞれのトピックに関する多様な英語表現を身につけます。また、ナチュラルスピードの英語を繰り返し聴き、音声シャドーイングの練習を通して重要語彙と頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。リーディングセッションでは読み応えのあるパッセージを扱い、異文化に関する知識を身につけながら、語彙・文法力と読解力の向上を図ります。また、英文読解をスピーキング・ライティング活動に発展させ、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどのコミュニケーション活動につなげます。語彙・文法力、リスニング力、英語での思考力、及びスピーキング・ライティング力を含む総合的な英語運用能力を向上させ、アカデミックで専門的な活動に繋がる英語コミュニケーション能力を養うことを目標として授業を進めます。TOEICスコア・アップ対策については配布プリントを使用し、授業の進捗状況に合わせて随時、問題演習を行う予定です。

#### 到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 易しく書かれた500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる。
- (3) はっきりとした発音で、ややゆっくり話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標 (2) 「易しく書かれた500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる」、到達目標 (3) 「はっきりとした発音で、ややゆっくり話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる」についてはディクテーション及び穴埋め式試験を実施します。
レポート課題	0	
上記以外	50	到達目標 (1) 「英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる」についてはReview Tests (2回)を実施します。(20%) 到達目標 (4) 「英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる」についてはディスカッション及びブ

1/3以上欠席した場合は評価の対象としません。

#### 授業外学習

自習用の音声ファイルを活用し、必ずテキストのListening&SpeakingとReading演習の予習をして授業を受けるようにしてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	New Connection <Book 3>	角山 照彦・Melanie Scooter・Courtney Hall	成美堂	978-4-7919-7181-7
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 B (活性化コース) (看護)						担当教員	鈴木 里奈
講義コード	1110192	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

#### 授業概要

この授業では、英語の4技能を高めることを目的としたレベル別総合教材テキストを使用します。リスニング・スピーキングセッションでは、主に親しみやすい身近なテーマを扱い、それぞれのトピックに関する多様な英語表現を身につけます。また、ナチュラルスピードの英語を繰り返し聴き、音声シャドーイングの練習を通して重要語彙と頻出表現をしっかりと確認し、英語特有の強弱のリズムやイントネーション、アクセントを段階的に習得します。リーディングセッションでは読み応えのあるパッセージを扱い、異文化に関する知識を身につけながら、語彙・文法力と読解力の向上を図ります。また、英文読解をスピーキング・ライティング活動に発展させ、内容理解のためのショート・ディスカッションや関連するトピックについて自分の意見を簡潔に述べる練習、プレゼンテーションなどのコミュニケーション活動につなげます。語彙・文法力、リスニング力、英語での思考力、及びスピーキング・ライティング力を含む総合的な英語運用能力を向上させ、アカデミックで専門的な活動に繋がる英語コミュニケーション能力を養うことを目標として授業を進めます。TOEICスコア・アップ対策については配布プリントを使用し、授業の進捗状況に合わせて随時、問題演習を行う予定です。

#### 到達目標

- (1) 英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる。
- (2) 500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる。
- (3) はっきりとした発音で話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる。
- (4) 英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標 (2) 「500語程度の英文記事や説明文のあらすじを理解できる」、到達目標 (3) 「はっきりとした発音で話される身近な話題を聞いて要点を聴解できる」についてはディクテーション及び穴埋め式試験を実施します。
レポート課題	0	
上記以外	50	到達目標 (1) 「英語の重要語彙、頻出表現を習得し、活用することができる」についてはReview Tests (2回)を実施します。(20%) 到達目標 (4) 「英語で自分の経験や意見、目標などを簡潔に述べるができる」についてはディスカッション及びブ

1/3以上欠席した場合は評価の対象としません。

#### 授業外学習

自習用の音声ファイルを活用し、必ずテキストのListening&SpeakingとReading演習の予習をして授業を受けるようにしてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	New Connection <Book 3>	角山 照彦・Melanie Scooter・Courtney Hall	成美堂	978-4-7919-7181-7
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110391	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

#### 授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.  
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110392	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

#### 授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.  
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110401	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

#### 授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.  
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 B (応用コース) (看護)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110402	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

#### 授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final interview test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.  
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110591	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

#### 授業概要

この授業では、主に医療、看護について書かれた英文の読解力の向上を目標とします。また、それと平行して英語で書かれた物語の読解も行う予定です。授業では、前時に予習を指示した部分の内容の確認、さらにハンドアウトや投げ込み教材に対する受講者の発表とそれに対する指導者のコメント、訂正という形で進めていきます。

#### 到達目標

1. 基本的な医療に関する英文を読んで理解するために必要な語彙を習得すること。
2. 基本的な医療に関する英文を読んでしっかりと内容を理解することができること。
3. 英語の物語をそこに描かれている場面を想像して楽しんで読むことができること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	20%	必ず指定された期間内に提出してください。
上記以外	20%	毎回の物語の内容に関する小テストです。

半期で4回以上の欠席は評価をしません。  
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。  
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は主に英語の物語の読解が中心になります。  
時間の許す限り繰り返し読んで授業が始まるまでに内容をしっかりと理解しておいてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Charlie and the Chocolate Factory	Roald Dahl	講談社インターナショナル	4770028407
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特に何かの科目を履修している必要はありませんが、主に看護、医療系の英語を扱いますので、看護学科以外の学生が履修する際にはそのことを了解して履修してください。

#### 履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110591	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/医療英語を学ぶことについて	授業の進め方についての説明など
第2回	医療施設の英語(1)/Charlie (1)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての解説
第3回	医療施設の英語(2)/Charlie (2)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての演習
第4回	診療科の英語(1)/Charlie (3)	物語の読解の演習と診療科の英語(1)
第5回	診療科の英語(2)/Charlie (4)	物語の読解の演習と診療科の英語(2)
第6回	身体の英語(1)/Charlie (5)	物語の読解の演習と身体の英語(1)
第7回	身体の英語(2)/Charlie (6)	物語の読解の演習と身体の英語(2)
第8回	疾患に関する英語(1)/Charlie (7)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(1)
第9回	疾患に関する英語(2)/Charlie (8)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(2)
第10回	入院環境(1)/Charlie (9)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(1)
第11回	入院環境(2)/Charlie (10)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(2)
第12回	患者の観察(1)/Charlie (11)	物語の読解の演習と患者の観察(1)
第13回	患者の観察(2)/Charlie (12)	物語の読解の演習と患者の観察(2)
第14回	慢性期看護(1)/Charlie (13)	物語の読解の演習と慢性期看護(1)
第15回	慢性期看護(2)/Charlie (14)	物語の読解の演習と慢性期看護(2)
第16回	安楽について(1)/Charlie (15)	物語の読解の演習と安楽について(1)
第17回	安楽について(2)/Charlie (16)	物語の読解の演習と安楽について(2)
第18回	移動介助(1)/Charlie (17)	物語の読解の演習と移動介助(1)
第19回	移動介助(2)/Charlie (18)	物語の読解の演習と移動介助(2)
第20回	与薬について(1)/Charlie (19)	物語の読解の演習と与薬について(1)
第21回	与薬について(2)/Charlie (20)	物語の読解の演習と与薬について(2)
第22回	救急看護(1)/Charlie (21)	物語の読解の演習と救急看護(1)
第23回	救急看護(2)/Charlie (22)	物語の読解の演習と救急看護(2)
第24回	周手術期ケアについて(1)/Charlie (23)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(1)
第25回	周手術期ケアについて(2)/Charlie (24)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(2)
第26回	妊娠と出産(1)/Charlie (25)	物語の読解の演習と妊娠と出産(1)
第27回	妊娠と出産(2)/Charlie (26)	物語の読解の演習と妊娠と出産(2)
第28回	小児看護(1)/Charlie (27)	物語の読解の演習と小児看護(1)
第29回	小児看護(2)/Charlie (28)	物語の読解の演習と小児看護(2)
第30回	地域・住宅看護/Charlie (29)/まとめ	物語の読解の演習と地域・住宅看護/授業のまとめ
担当者から一言		

講義名	英語 B (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110592	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

#### 授業概要

この授業では、主に医療、看護について書かれた英文の読解力の向上を目標とします。また、それと平行して英語で書かれた物語の読解も行う予定です。授業では、前時に予習を指示した部分の内容の確認、さらにハンドアウトや投げ込み教材に対する受講者の発表とそれに対する指導者のコメント、訂正という形で進めていきます。

#### 到達目標

1. 基本的な医療に関する英文を読んで理解するために必要な語彙を習得すること。
2. 基本的な医療に関する英文を読んでしっかりと内容を理解することができること。
3. 英語の物語をそこに描かれている場面を想像して楽しんで読むことができること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	20%	必ず指定された期間内に提出してください。
上記以外	20%	毎回の物語の内容に関する小テストです。

半期で4回以上の欠席は評価をしません。  
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。  
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は主に英語の物語の読解が中心になります。  
時間の許す限り繰り返し読んで授業が始まるまでに内容をしっかりと理解しておいてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Charlie and the Chocolate Factory	Roald Dahl	講談社インターナショナル	4770028407
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特に何かの科目を履修している必要はありませんが、主に看護、医療系の英語を扱いますので、看護学科以外の学生が履修する際にはそのことを了解して履修してください。

#### 履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (看護)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110592	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/医療英語を学ぶことについて	授業の進め方についての説明など
第2回	医療施設の英語(1)/Charlie (1)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての解説
第3回	医療施設の英語(2)/Charlie (2)	物語の読解の演習と医療施設の英語についての演習
第4回	診療科の英語(1)/Charlie (3)	物語の読解の演習と診療科の英語(1)
第5回	診療科の英語(2)/Charlie (4)	物語の読解の演習と診療科の英語(2)
第6回	身体の英語(1)/Charlie (5)	物語の読解の演習と身体の英語(1)
第7回	身体の英語(2)/Charlie(6)	物語の読解の演習と身体の英語(2)
第8回	疾患に関する英語(1)/Charlie(7)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(1)
第9回	疾患に関する英(2)/Charlie (8)	物語の読解の演習と疾患に関する英語(2)
第10回	入院環境(1)/Charlie (9)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(1)
第11回	入院環境(2)/Charlie (10)	物語の読解の演習と入院環境に関する英語(2)
第12回	患者の観察(1)/Charlie (11)	物語の読解の演習と患者の観察(1)
第13回	患者の観察(2)/Charlie (12)	物語の読解の演習と患者の観察(2)
第14回	慢性期看護(1)/Charlie (13)	物語の読解の演習と慢性期看護(1)
第15回	慢性期看護(2)/Charlie (14)	物語の読解の演習と慢性期看護(2)
第16回	安楽について(1)/Charlie (15)	物語の読解の演習と安楽について(1)
第17回	安楽について(2)/Charlie (16)	物語の読解の演習と安楽について(2)
第18回	移動介助(1)/Charlie (17)	物語の読解の演習と移動介助(1)
第19回	移動介助(2)/Charlie (18)	物語の読解の演習と移動介助(2)
第20回	与薬について(1)/Charlie (19)	物語の読解の演習と与薬について(1)
第21回	与薬について(2)/Charlie (20)	物語の読解の演習と与薬について(2)
第22回	救急看護(1)/Charlie (21)	物語の読解の演習と救急看護(1)
第23回	救急看護(2)/Charlie (22)	物語の読解の演習と救急看護(2)
第24回	周手術期ケアについて(1)/Charlie (23)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(1)
第25回	周手術期ケアについて(2)/Charlie (24)	物語の読解の演習と周手術期ケアについて(2)
第26回	妊娠と出産(1)/Charlie (25)	物語の読解の演習と妊娠と出産(1)
第27回	妊娠と出産(2)/Charlie (26)	物語の読解の演習と妊娠と出産(2)
第28回	小児看護(1)/Charlie (27)	物語の読解の演習と小児看護(1)
第29回	小児看護(2)/Charlie (28)	物語の読解の演習と小児看護(2)
第30回	地域・住宅看護/Charlie (29)/まとめ	物語の読解の演習と地域・住宅看護/授業のまとめ
担当者から一言		

講義名	英語 A (充実コース) (看護)						担当教員	市場 史哉
講義コード	1110601	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

#### 授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

#### 到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各Unitのリスニング問題を行う。

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

#### 授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。  
中間テスト、期末テストまでにオンライン動画配信サービスを使って復習をする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ABC World News 20	Shigeru Yamane	金星堂	978-4-7647-4051-8
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 B (充実コース) (看護)						担当教員	市場 史哉
講義コード	1110602	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

#### 授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

#### 到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各ユニットのリスニング問題を行う。

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

#### 授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。  
中間テスト、期末テストまでに動画配信サービスを使って復習をする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Broadcast: ABC World News Tonight	山根繁	金星堂	978-4-7647-4073-0
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (展開コース) (看護)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110801	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (展開コース) (看護)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110802	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (展開コース) (看護)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110811	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 B (展開コース) (看護)						担当教員	渡 寛法
講義コード	1110812	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC公式問題集の問題演習をとおして、必要な語彙や文法を学び、英語力育成を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、試験時間120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEIC問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。
- (2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
- (3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) に関しては、期末試験で評価します (60%)。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワーク、振り返りワークシートによって評価し (20%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (20%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 3	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会	978-4-906033-53-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(看護a)						担当教員	森 将豪
講義コード	1130070	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

#### 授業概要

情報処理技術の習得は日常生活に資するだけでなく、大学で学ぶ上で情報処理のリテラシーを習得しておくことは必須である。本講では高年次で開講される講義や演習および実習に必要な情報技術、すなわち Web ブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、電子メール、文書処理などを、MS Windows 環境下で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。そして、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトによる論文発表の手法を習得する。

#### 到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができること。さらに、情報倫理について理解を深めること。
- (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に議論を展開し結論づけることができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	100	到達目標で示す (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること。情報倫理についても理解を深めること、(2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること、(3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることがで
上記以外	0	

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	978-4130033053
2				
3				

#### 前提学力等

キーボードからの入力に慣れておくこと。

#### 履修資格



講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(看護b)						担当教員	森 将豪
講義コード	1130080	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

#### 授業概要

情報処理技術の習得は日常生活に資するだけでなく、大学で学ぶ上で情報処理のリテラシーを習得しておくことは必須である。本講では高年次で開講される講義や演習および実習に必要な情報技術、すなわち Web ブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、電子メール、文書処理などを、MS Windows 環境下で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。そして、レポートや学術論文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトによる論文発表の手法を習得する。

#### 到達目標

- (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができること。さらに、情報倫理について理解を深めること。
- (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること。
- (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に議論を展開し結論づけることができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	100	到達目標で示す (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること。情報倫理についても理解を深めること、(2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること、(3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることがで
上記以外	0	

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストに代わる授業資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト	小林康夫・船曳建夫	東京大学出版会	978-4130033053
2				
3				

#### 前提学力等

キーボードからの入力に慣れておくこと。

#### 履修資格



講義名	情報科学概論（看護a）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130180	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

#### 授業概要

わたしたちの暮らしの中で様々な形で利用されている情報を科学的に捉えるための方法とは何か、その基本的な方法論を学ぶ。特に高年次での講義や演習及び実習が必要となる統計処理の手法を中心とした内容で、レポート作成や研究活動に必要な基本的な統計的手法について、コンピュータを用いた実習形式で授業を進める。

#### 到達目標

- (1) 得られたデータを要約して基本統計量を記述することができる。
- (2) 得られたデータから母集団の母数推定および仮説検定ができる。
- (3) 2変量データの相関分析および単回帰分析ができる。重回帰分析ができ、その結果について理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標に示す(1)～(3)について、レスポンスペーパーを含む課題レポート(100% : (1) 30%、(2) 40%、(3) 30%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
上記以外		

#### 授業外学習

授業で示す実習課題を通して統計学に関する予習復習をすることで理解をより深めてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル(浅井・村上 訳)	培風館	978-4563008390
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	最新 保健学講座6 疫学 / 保健統計	丸井英二 編	メヂカルフレンド社	978-4-8392-2184-3
2	統計学が最強の学問である	西内啓	ダイヤモンド社	978-4-478-02221-4
3				

#### 前提学力等

Excelなど表計算アプリによる情報処理ができること。

#### 履修資格





講義名	情報科学概論（看護b）						担当教員	森 将豪
講義コード	1130190	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

#### 授業概要

わたしたちの暮らしの中で様々な形で利用されている情報を科学的に捉えるための方法とは何か、その基本的な方法論を学ぶ。特に高年次での講義や演習及び実習が必要となる統計処理の手法を中心とした内容で、レポート作成や研究活動に必要な基本的な統計的手法について、コンピュータを用いた実習形式で授業を進める。

#### 到達目標

- (1) 得られたデータを要約して基本統計量を記述することができる。
- (2) 得られたデータから母集団の母数推定および仮説検定ができる。
- (3) 2変量データの相関分析および単回帰分析ができる。重回帰分析ができ、その結果について理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標に示す(1)～(3)について、レスポンスペーパーを含む課題レポート(100% : (1) 30%、(2) 40%、(3) 30%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
上記以外		

#### 授業外学習

授業で示す実習課題を通して統計学に関する予習復習をすることで理解をより深めてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初等統計学	P.G.ホーエル(浅井・村上 訳)	培風館	978-4563008390
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	最新 保健学講座6 疫学 / 保健統計	丸井英二 編	メヂカルフレンド社	978-4-8392-2184-3
2	統計学が最強の学問である	西内啓	ダイヤモンド社	978-4-478-02221-4
3				

#### 前提学力等

Excelなど表計算アプリによる情報処理ができること。

#### 履修資格



講義名	人間探求学(人間看護)						担当教員	学科教員/大脳 万起子/横井 和美/ 古株 ひろみ/甘佐 京子/古川 洋子/ 米田 照美/牧野 耕次/荒川 千登世/
講義コード	1150340	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	101HUM101							

#### 授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。  
授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ(5~6名)に分け、担当教員が割り当てられる。

#### 到達目標

- (1) 自ら探求したテーマについて、論理的にレポートできる  
(2) 探求したことや自らの考えについて、プレゼンテーションによって他者にわかりやすく説明することができる \*残り(3)は追加情報に掲載

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	取り上げたテーマに関して、図書情報センター等を利用し必要な文献等を探求することができる。引用文献・参考文献等を明示し、自らの意見と区別して論じることができる。 根拠に基づき、論理的な説明ができています。誤字・脱字がなく、章や段落が明確で読みやすい文章となっている。
上記以外	80	プレゼンテーション作成に向けて、主体的・積極的に学び取り組む姿勢がみられる。発表では、聴衆・受け手の関心・注意を引いてアピールすることができる。スライド画面の構成や、文字、図表が明瞭で工夫されている。 根拠に基づき、論理的な説明ができています。他者の考えを理解し尊重した上で、的確に質問に答えることができている。

\*なお、出欠および遅刻/早退は減点方式とし、1回欠席で-8点、遅刻/早退は-4点とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介、または資料配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	母性看護学概論						担当教員	岩谷 久美子
講義コード	1500061	単位数	1	開講期	後期後半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR227-C							

#### 授業概要

母性看護に関連する諸概念、人の性と生殖のメカニズムとその意義、母性保健の動向や母子保健施策について理解し、母性看護の役割や機能を学ぶ。女性のライフサイクル各期における母性の特徴とそれに対応した看護、女性のセクシャリティとリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する主要な健康課題の特徴と看護を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 母性看護に関連する諸概念と母性看護の役割が理解できる。
- (2) 母性を取り巻く環境、母子保健の動向と施策が理解できる。
- (3) 人の性と生殖のメカニズムとその意義が理解できる。
- (4) セクシャリティとリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する主要な健康課題の特徴とそれに対応した看護が理解できる。
- (5) 女性のライフステージやライフサイクル各期における母性の特徴とそれに対応した看護が理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	定期試験と講義終了後のレスポンスペーパーにて総合的に評価する。 到達目標(1)20%、(2)20%、(3)20%、(4)20%、(5)20%
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学(1)	森 恵美他	医学書院	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護学(2)	森 恵美他	医学書院	
2				
3				

講義中適宜紹介します

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	母性看護学						担当教員	渡邊 友美子 / 越山 雅文
講義コード	1500062	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR228							

#### 授業概要

1. 周産期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、母子とその家族のウェルネスに向けた看護を展開していく上で必要とされる基礎的知識（社会的サポートシステムを含む）を学習する。
2. 周産期の代表的な疾患と、ハイリスク状態にある対象の特徴を理解し、看護を展開する上で必要とされる基礎的知識を学習する。

#### 到達目標

1. 周産期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、説明することができる。
2. 周産期にある対象の特徴を踏まえ、看護の実際を理解し、説明することができる。
3. ハイリスク状態にある対象者の特徴を踏まえ、看護の実際を理解し、説明することができる。
4. 周産期にある対象への社会的サポートシステムについて理解し、説明することができる。
5. 周産期の代表的な疾患について理解し、説明することができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標1 (30%) 到達目標2 (25%) 到達目標3 (20%)
レポート課題		
上記以外		

1/3以上欠席した場合は評価対象外とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統学看護学講座 専門分野 母性看護学各論母性看護学	森恵美他	医学書院	978 - 4 - 260 - 01374 - 1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜紹介する。

#### 前提学力等

母性看護学概論を履修していることが望ましい  
「体の仕組みと機能 . . . 」の女性生殖器官の形態について。

#### 履修資格





講義名	母性看護学演習						担当教員	渡邊 友美子 / 古川 洋子 / 板谷 裕美 / 濱野 裕華
講義コード	1500063	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

周産期における母子および家族の特徴を理解した上で、看護過程の展開を実施し、基礎的な看護技術について学ぶ。

#### 到達目標

- 1) 周産期にある母子および家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、それらを関連付けて説明することができる。
- 2) 周産期にある母子および家族の看護目標・看護の方向性を説明できる。
- 3) 周産期にある母子および家族の看護過程の展開を実施し、看護計画を立案することができる。
- 4) 周産期にある母子への基本的な看護技術が習得できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題	35	
上記以外	15	レスポンスカード・授業に対する意欲・グループワークへの姿勢

1/3以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

適宜事前学習や課題を提示するため、必ず自己学習をしてから授業に臨むこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学	森恵美 他	医学書院	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

2年次の母性看護学で習得した知識に関しては理解していること。

#### 履修資格



講義名	母性看護学実習						担当教員	岩谷 久美子 / 古川 洋子 / 渡邊 友美子 / 板谷 裕美 / 濱野 裕華
講義コード	1500064	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

実習を通して、周産期における女性と子どもおよび家族の身体的、心理的、社会的特徴を総合的に理解し、母性看護が実践できる能力を養う。

#### 到達目標

- (1) 周産期における対象の特性および必要な看護実践が理解できる。
- (2) 対象の看護上の問題および課題を明確にし、看護援助を実践することができる。
- (3) 生命の神秘・尊厳について理解を深め、周産期看護の役割・機能について学ぶことができる。
- (4) 看護者の一員として責任ある行動をとり、主体性と協調性を持って実習に取り組むことができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習到達目標達成状況で評価する。 到達目標(1)実習記録、面接法24%、(2)実習記録、観察法40%、(3)実習記録、面接法15%、(4)実習記録、観察法21%

母性看護学実習 実習要項の評価及び評価基準の項を参照すること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	母性看護技術(第2版)	石村由利子編集	医学書院	
2	母性看護過程(第2版)	佐世正勝 / 石村由利子編集	医学書院	
3	新生児学入門(第4版)	仁志田博司	医学書院	

授業で使用した資料や参考図書等

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	疫学						担当教員	趙 林
講義コード	1500080	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR325							

#### 授業概要

医学・医療の世界では医学推計学は必須の学問になっている。疫学はある集団を対象として健康の事象・疾病頻度とその分布を観察し、その原因を究明する学問である。本講座は臨床研究を含む社会健康医学領域において、最も基本となる疫学の考え方、方法論についての入門的な講義を行う。受講者は将来、看護師または保健師として現場で働くときに役立つ疫学について学習する。

#### 到達目標

- (1)疫学的研究方法（横断研究・縦断研究・症例対照研究・介入研究）について理解し、学術論文をcriticalに読む力を身につける。
- (2)疫学の導き出した健康に関する多くのエビデンスを知り、人々の命や健康に役立てる礎をつくる。
- (3)保健統計の用語などの意味や重要性などを理解する。
- (4)多様な医療統計技法に触れ、科学的論考につながる視点をもつ。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	用語の意味を理解し、データを分析し読み取る能力
レポート課題	10	テーマに沿った演習課題について適切に処理し、まとめる能力
上記以外	20	授業時の小テストの成績

#### 授業外学習

なるべく分からないまままで講義を終わらないで、講義中に質問して解決すること。  
疫学は暗記する学問ではなく考える学問であるので、講義中にしっかり考えられるように予習、復習をすすめる。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座別巻2 疫学・保健統計学(第3版)	牧本清子 他	医学書院	978-4-260--01998-9
2				
3				

初回授業に必ず持参すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エビデンスにもとづく公衆衛生学 WEB連動テキスト	城憲秀・宮下和久・武田眞太郎共編著	培風館	978-4-563-07366-4 C3077
2				
3				

#### 前提学力等

統計の用語について基礎知識を有することが望ましい。

#### 履修資格



講義名	エンドオブライフケア演習						担当教員	糸島 陽子 / 大門 裕子 / 小野 あゆみ / 喜多下 真里
講義コード	1500081	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	341NUR303							

#### 授業概要

エンドオブライフにある人々の全人的苦痛と家族（重要他者）が抱える苦悩を知り、エンドオブライフケアを展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。また、エンドオブライフケアを学ぶ中で、自己の死生観について考え、死に逝く人々とその家族に向き合える基本的態度を養う。

#### 到達目標

- (1) エンドオブライフにある人々と家族（重要他者）に対する苦痛緩和のための基本的な看護が理解できる。
- (2) エンドオブライフにある人々と家族（重要他者）に対する深い洞察力、悲嘆などの感情に寄り添う態度を養うことができる。
- (3) エンドオブライフケアを実践するチーム医療、多職種と協働する姿勢、エンドオブライフケアを実践する医療者の役割と責任を理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標(1) 30% 到達目標(2) 10% 到達目標(3) 10%
レポート課題	30%	到達目標(1) 10% 到達目標(2) 10% 到達目標(3) 10%
上記以外	20%	技術演習 到達目標(2) 10%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020	T.ヘザー・ハードマン, 上鶴重美	医学書院	
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく 看護過程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	
3	江川隆子のかみくだき看護診断 改定9版	江川隆子	日総研出版	

講義時に紹介します

#### 前提学力等

成人看護学を履修していること

#### 履修資格





講義名	エンドオブライフケア実習						担当教員	喜多下 真里 / 大門 裕子 / 糸島 陽子 / 中川 美和 / 生田 宴里
講義コード	1500082	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号	341NUR306							

#### 授業概要

エンドオブライフにある人々の身体的・精神的・社会的・霊的特徴、および、その家族（重要他者）の特徴を統合的に理解して、エンドオブライフケアを実践するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。また、エンドオブライフにある人々とその家族との出会いをとおして、人間の尊厳、QOL、生と死について洞察し、自己の死生観と看護観（感）を養う。

#### 到達目標

- (1) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)を、全人的に理解できる。
- (2) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)の意思を尊重した援助的人間関係を樹立できる。
- (3) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)の「苦痛」に関連した主観的・客観的情報を、論理的・科学的にアセスメントし、個別的な看護計画が立案できる。
- (4) 受け持ち患者の意思を尊重しながら、安全かつ安楽な方法で苦痛緩和を目指した看護を実施できる。
- (5) 実施した看護に対し、客観的に評価できる。
- (6) エンドオブライフにある患者とその家族(重要他者)の援助をとおして、緩和ケアチームの一員として、連携の重要性が理解でき、チームメンバーとしての自己の役割・責任にもとづく行動がとれる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標について、下記項目から総合的に評価する。 1) 実習記録

成績評価の詳細は、「エンドオブライフケア実習評価表」を参照すること。  
単位認定には、すべての到達目標で「レベル2（可）」以上を必要とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

3年前期までの専門科目（実習を含む）・専門基礎科目における必修科目の単位をすべて修得

#### 履修資格



講義名	家族看護学						担当教員	大脇 万起子
講義コード	1500083	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	441NUR320							

#### 授業概要

家族を単に対象者を取り巻く背景として捉えるのではなく、家族機能をシステムとして捉え、個人及びその家族が持っているセルフケア能力を高める援助の方法について論じる。  
さらに、家族のライフサイクルの段階に応じた発達課題、直面する危機や健康問題に対する援助のあり方を講義およびグループワーク（事例検討、事例作成・役割演技）を通して学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 家族看護に関する主な理論やモデルについて理解する。
- (2) 家族看護過程（アセスメント・診断・計画・方法・評価）に関する基本的な知識を習得する。
- (3) 患者家族と向き合うための基本的な姿勢・コミュニケーション技術を習得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	1. 到達目標(1)・(2)（各30%、計60%）に関して実施。 詳細はルーブリック（添付文書）に記載。
レポート課題	15%	1. 到達目標(3)（15%）に関して実施。 詳細はルーブリック（添付文書）に記載。
上記以外	25%	1. ショートカード（毎回提出） 到達目標(1)・(2)・(3)（各5%、計15%）に関して実施 2. グループワーク評価

#### 授業外学習

宿題および小試験はありませんが、授業でのグループ学習やレポート作成を円滑にするため、個人およびグループでの予習・復習を積極的にお願ひします。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 別巻 家族看護学	上別府圭子 他	医学書院	978-4-260-03192-9
2				
3				

毎回、授業に持参して下さい。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	癒しのための家族看護モデル 病いと苦悩、スピリチュアリティ	森山 美知子 他 訳	医学書院	978-4260000949
2	ピリーフ 家族看護実践の新たなパラダイム	杉下知子 他 訳	日本看護協会出版会	978-4818009165
3	新しい家族看護学 理論・実践・研究	法橋尚宏 他	メヂカルフレンド社	978-4839213558

上記以外については、配布プリントの中で紹介する。

#### 前提学力等

特になし。

#### 履修資格



講義名	解剖生理学						担当教員	安原 治
講義コード	1500105	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR201							

#### 授業概要

人体のしくみと機能に関する知識は看護学を習得するための重要な基礎となる。本講は、人体の構造（解剖学）とその機能（生理学）を統合的に学ぶことを目的とする。正常な構造と機能の理解は疾患や障害の理解に必須であり、看護を含むすべての医療行為に不可欠である。本講では、人体の各器官系について、発生と関連づけながら個々の細胞・組織・器官とその機能に関する内容を取り上げ、個々の知識を人体の全体像と関連付けて理解することを目指す。また、臨床と関連づけて学ぶことにより、生きた解剖生理学の知識が定着するよう講義する。解剖生理学Iでは、1)解剖生理学の全体像を概説し、続いて2)消化器系、3)呼吸器系、4)循環器系、5)血液について学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 細胞、細胞内小器官、組織の構造を説明できる。
- (2) 各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。
- (3) 人体の機能を構造に関連づけて説明できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	選択問題 25問 (2点 X 25 = 50) 記述問題 2問 (10点 X 2 = 20)
レポート課題	10	正確な記述を重視する
上記以外	20	小試験 記述問題 2問 (10点 X 2 = 20) あらかじめ課題を10題前後提示して、その中から2問を出題する。

#### 授業外学習

次回講義内容の教科書の通読は少なくとも行うこと。  
学期途中にレポート1回の提出を求め、小試験を1回行う。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 解剖生理学	坂井建雄・岡田隆夫	医学書院	9784260018265
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高校生物を理解していることが望ましい

#### 履修資格



講義名	解剖生理学						担当教員	安原 治 / 越山 雅文
講義コード	1500115	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR202							

#### 授業概要

解剖生理学(Ⅰ)に引き続き、人体の構造(解剖学)とその機能(生理学)を統合的に学ぶ。本講では、泌尿器系、内分泌系、運動器系、神経系、感覚器系、生殖器系を取り上げ、外的環境への適応、内的環境の維持調節、生殖のしくみを中心に学ぶ。また、老化、疾患についても触れる。さらに、解剖見学学習を通して、人体の構造を自らの眼と手で学ぶとともに、献体していただいた故人の崇高な意思を感じ取る。

#### 到達目標

- (1) 各器官系の人体内の位置と構造について、解剖学用語を用いて図示し説明できる。
- (2) 人体の機能を構造に関連づけて説明できる。
- (3) 人体の発生、成長、成熟、老化の概要を説明できる。
- (4) 解剖見学学習を通して、人体の構造を自らの眼と手で学ぶとともに、献体していただいた故人の崇高な意思を感じ取る。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	選択問題 25問(2点X25 =50) 記述問題 2問(10点X2 =20)
レポート課題	10	2回(うち1回は解剖見学レポート) 1回5点
上記以外	20	小試験 選択問題 20問(1点X20 =20)

#### 授業外学習

次回講義内容の教科書の通読は少なくとも行うこと。学期中に2回のレポート提出(うち1回は解剖セミナーレポート)を求め、1回の小試験を予定している。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

高校生物を理解していることが望ましい

#### 履修資格





講義名	看護英語						担当教員	安原 治 / 大脇 万起子 / 牧野 耕次 / 馬場 文 / 中川 美和 / 生田 宴里
講義コード	1500121	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	441NUR328							

#### 授業概要

看護師という職業は、その専門性の高さから、日本だけでなく海外でも活躍の場が広がっている。また、社会の国際化に伴って、日本国内でも今後ますます看護英語が重要になっていくものと思われる。本講義では、これまでに学んできた英語と看護学の知識を基盤にして、入院から退院まで、看護現場で用いられる臨床看護英語の基礎を学ぶとともに、海外留学体験の講義、米国大学生との交流、映画、国際模擬学会などを通じて看護英語の実際に触れる。

#### 到達目標

- (1) 看護に必要な基礎的な英語医学用語を修得する。
- (2) 実際の医療現場における会話 (CD, DVD) や米国大学生との交歓会などを通して、生きた英語表現を学ぶ。
- (3) 海外留学体験の講義や模擬国際学会を通して、国際的な活動に目を向け、視野を広げる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	プレゼンテーション用のパワーポイント資料の提出を求める。
上記以外	70	1) JCMU交流会でのグループプレゼンテーションやグループディスカッションを評価する (40) 2) 「英語で問診」に関するミニテストを行う (30)

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じてプリントを配布する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	看護英語実践						担当教員	牧野 耕次 / 未定 *
講義コード	1500123	単位数	2	開講期	後期集中	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

アメリカのオレゴン州にあるポートランド州立大学が主催する短期研修プログラムに参加し、ポートランド市周辺の病院や医療施設を見学し、アメリカの医療や教育システムを学ぶ。また、ホームステイをすることにより、アメリカでの生活や文化を体験する。また、ポートランドで学ぶ看護学生に日本の医療制度や施設について英語でプレゼンテーションを行い、交流を深める。今回の研修では、英語力の向上と、アメリカの医療について学ぶとともに、日本の医療制度について理解を深める。

#### 到達目標

- (1) アメリカの病院・施設の見学やそこで働くスタッフとの意見交換を通じて、アメリカの医療・治療、医療システムや医療に関する教育システムについて学ぶ。  
(2) ホームステイをすることにより、アメリカの生活や文化について学ぶ。また、出来る限り英語に接する機会を持ち、語学力の向上を図るとともに異文化理解を深める。  
(3) 英語で生活し、英語でプレゼンテーションをすることにより、英語力だけでなくプレゼンテーション能力を向上させる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	レポート70%
上記以外	30	グループワーク・発表30%

出発前の日本の医療に関するプレゼンテーションの準備、研修のオリエンテーション参加も評価に含む

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	生化学						担当教員	若林 保良
講義コード	1500125	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR203							

#### 授業概要

生化学は、生命を化学物質の変化「物質代謝」として理解する分野です。皆さんも「物質代謝」を見る目で人間を理解し、健康や病気を「物質代謝」の変化として理解することを旨とさせていただきます。  
最初に体を作る化学物質「生体分子」の構造と性質を学びます。次にそれを維持するのに必要な、「物質代謝」の経路とその調節を学びます。まず生体分子の合成分解に重要な「酵素」を学んだ後、エネルギーの担い手ATP、糖質、脂質、アミノ酸、ヌクレオチドなどの合成と分解について学びます。遺伝子の複製と発現、タンパク質の合成についても学習します。ホルモンや増殖因子などについても紹介します。  
講義は教科書に沿ってポイントを絞っておこないます。患者さんから質問された時答えられる、身についた知識が目標です。しかし生化学は解剖学や臨床医学と違って、化学物質は目に見えず、抽象的になり勝ちです。目で見て理解するのが困難なので、頭の中にイメージを作って理解することが必要になります。そのためには毎回の予習復習が絶対が必要です。特に毎回15分で良いので復習してください。

#### 到達目標

(1)食品の持つカロリーには血糖を上昇させるものとそうでないものがある。(2)ビタミンDやナイアシンは人体で作ることのできるビタミンである。(3)プロスタグランジンは発熱や頭痛の原因物質でもある。(4)抗がん剤にはヌクレオチドや核酸の合成を邪魔するものが多い。(5)善玉コレステロールも悪玉コレステロールもどちらも必要である。(6)運動しないと太るのはなぜ、電子伝達系が進まなくなるから。(7)両親媒性物質が細胞の形を作る。(8)酵素活性の調節の仕方を説明できる。(9)ビタミンの役割を説明できる。(10)ケトン体の合成が増えるのはどんな時か。(11)黄疸の黄色はヘムから作られる。 - - -などを患者さんに説明できるようになりましょう。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	筆記テストを行います。
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

講義が始まる前に、教科書か下記参考書のどれかに短時間で良いので目を通して見て、どの様な用語が出てくるのか調べておいて下さい。参考書はいずれも初学者に好評です。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生化学 人体の構造と機能 2 (系統看護学講座 専門基礎分野)	三輪 一智	医学書院	978-4260018364
2				
3				

生協に発注してありますので、初回授業には必ず持参して下さい。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	亀田講義ナマ中継 生化学 (わかりすぎてヤバい!)	亀田 和久	講談社	978-4061562547
2	食卓の生化学 第2版	三浦 義彰 (編集)	医歯薬出版	978-4263707210
3				

3は健康志向の番組などで、頻回に話題にされる項目についての、生化学的な解説書です。

#### 前提学力等

原子、分子、電子、化学結合、酸化と還元、細胞の構造など、高校の化学や生物の教科書の最初の2,3ページに書かれている基本的な事項については必ず自習しておいて下さい。

#### 履修資格



講義名	看護管理学					担当教員	米田 照美
講義コード	1500129	単位数	2	開講期	前期前半		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

看護専門職として高度なマネジメント能力を概要を理解することを目的として、看護組織論・看護制度・政策論・看護経営と業務管理、人的資源活用論、看護情報管理について概説する。

#### 到達目標

- (1) 現在の保健医療福祉サービスや医療制度を取り巻く現状と看護管理の役割を関係づける
  - (2) 組織マネジメント・リーダーシップ・人的資源開発・看護政策・看護サービス管理について概要を理解する
  - (3) 地域連携・災害時の看護マネジメントの実際を理解する
- 医療現場における業務上の危険とその対処、看護師の基本的責務と倫理について理解を深める
- (4) 看護場面でおこつ多重課題の対応策について考えることができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90%	目標(1)～(3)に対し、課題レポートを課す
上記以外	10%	・目標(4)に対し、グループディスカッションを行う。

・3分の1以上欠席したものは、評価の対象としない。(ただし、実習などの公欠はのぞく)  
無断欠席 - 8点、遅刻・早退 - 2点とする。講義中、他者の迷惑行為(私語など)は減点 - 2点とする。講義のコメントの内容により、加点する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護管理		メディカ出版	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

3回生までに履修すべき専門科目・臨地実習科目を習得していることが望ましい。

#### 履修資格





講義名	看護キャリアデザイン論						担当教員	横井 和美
講義コード	1500142	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	441NUR327							

#### 授業概要

医療の高度化・専門化が進む現代において看護の役割拡大や質の向上が求められる中、さまざまな角度から看護の役割を深く見詰め、自分を分析して自分の進むべき道を考える。看護学の学びをもとに、自己の人間形成とキャリア・職業観の育成、進路の選択・決定ができる能力を培う。

#### 到達目標

- (1) 看護のキャリアデザインが求められる背景について理解できる。
- (2) 多面的な看護の役割から自己のキャリアデザインを描くことができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	
上記以外	50%	グループ発表からの課題レポート30% 課題発表 20%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護師のキャリア論	勝原裕美子	ライフサポート社	978-4-904084-01-4
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	看護教育と実践						担当教員	米田 照美 / 伊丹 君和 / 関 恵子 / 千田 美紀子
講義コード	1500143	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	演習	
ナンバリング番号	441NUR329							

#### 授業概要

臨床において看護職・保健職は、看護学生や後輩看護師など後進への育成に携わる機会が多い。また、将来、教育研究機関において、看護教育者として活躍することもある。実際の講義・演習・実習など看護教育の実践の場に参加する中で、体験を通して看護教育の基礎的能力を育む。また、後輩学生への指導を通して看護実践力および指導力を培うことを目指す。

#### 到達目標

- 1) 看護基礎教育における授業方法・授業教材・授業評価の基礎的知識について、看護教育の実践の場で後輩学生への指導を通して、理解し指導力を培うことができる。
- 2) 看護教育の実践の場で後輩学生への指導を通して得た学びを共有することが出来る。
- 3) 看護教育者として望ましい身だしなみ・態度・言動で看護教育の実践の場に参加できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題		
上記以外	100%	1) 技術演習での参加、看護教育実践内容 80% 2) 指導した経験の振り返りと学びの共有 20%

- 1) 演習の参加状況、後輩への指導状況をみて、段階的に評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

3年次までの専門基礎科目、専門科目における必修科目をすべて修得していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	看護研究の基礎						担当教員	古株 ひろみ / 牧野 耕次 / 糸島 陽子 / 小林 孝子
講義コード	1500145	単位数	1	開講期	通年集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

看護における新たな知識、知見を生み出し、実践・教育・健康政策の変化をもたらす「看護研究」への理解を深めるとともに、学士力の向上を目指す。看護（卒業）研究への導入を円滑に行うため、研究を実施するにあたって必要な手法を、研究の流れに沿って解説する。

#### 到達目標

1. 看護研究の目的と意義が理解できる。
2. 国内外における文献検討の意義を理解し、文献検索を行うことができる。
3. 研究課題の組み立て、研究方法の手法（量的・質的）が理解できる。
4. 論文の書き方が理解できる。
5. 研究倫理を踏まえて、研究計画書を作成する方法が理解できる。
6. 論文のクリティークの意義と方法を理解し、行うことができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	論文のクリティークを通して到達目標1,3,4,5,6を評価する
上記以外	30	クリティークした内容の発表を通じて、到達目標1,3,4,5,6の理解度を評価する

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 別巻看護研究.東京.2017.	坂下令子	医学書院	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	看護トピックス						担当教員	甘佐 京子 / 下通 友美
講義コード	1500161	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	441NUR326							

#### 授業概要

授業概要：社会現象や時事問題および国内外のニュースの中で、看護師・助産師・保健師などの看護職および医療・福祉に関連した様々な話題を取り上げ、その現象の意味や要因を考え、看護に対する視野を広めるとともに知見を深める。講義はグループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションを中心に展開する。自らが興味を持つ事象を、実習体験などを通して論じ、積極的に意見交換を行える場として活用する。

#### 到達目標

- (1) 看護職および医療・福祉に関連した様々な話題を取り上げ、その現象の意味や要因を考え、看護に対する視野を広めるとともに知見を深めることができる。
- (2) グループワークにおいて、自分たちのテーマについて聴衆にわかりやすくプレゼンテーションができる。
- (3) それぞれのテーマにおいて、自己の意見を発言し積極的にディスカッションに参加できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	最終講義を受け、自分自身が今一番注目するテーマについて、レポートを提出する 「わが国(滋賀県)における医療・看護・福祉の現状と課題 副題 に焦点を当てて」
上記以外	40	グループワーク・プレゼンテーション20% グループの相互評価・プレゼンは参加者による評価

参加型の授業なので、3回以上無断欠席の場合評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は特になし。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

今までの全ての教科書が参考図書となる

#### 前提学力等

医療・看護・福祉に関して幅広く興味関心をもっていること。できれば、臨地実習等を経験している4年時以降の履修が望ましい。

#### 履修資格





講義名	看護理論（看護学部）						担当教員	米田 照美
講義コード	1500162	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR218							

#### 授業概要

臨地実習などにおける自らの看護経験を振り返り、いずれかの看護理論を援用して、「人間」「健康」「環境」「看護」の観点で整理して理解を深める。また、自らの人間観や看護観とそれを形成してきた諸経験について省察し、これからの看護実践について「人が人として生きることを支える看護」の視点で展開する。

#### 到達目標

- (1) 理論家の略歴や理論の背景を理解した上で、看護のメタパラダイムである「人間」「健康」「環境」「看護」および理論の概要について説明できる。また、臨地実習での看護経験に理論を援用した事例展開（劇など）ができる。
- (2) 特定の現象または概念に焦点をあてた中範囲理論の概要について説明できる。また、臨地実習での看護経験や身近に起こった出来事・体験に理論を援用した事例展開（劇など）ができる。
- (3) 学習プロセスを通して、自身の人間観・看護観を基礎づけ、実践した看護について看護理論を援用した考察ができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標（3）について、レポート課題を課す。
上記以外	60%	到達目標（1）（2）について、グループワークの発表・提出課題を課す。

遅刻 3回で4点を減点する。  
3分の1以上の欠席は評価対象とならない。  
レスポンスペーパーの内容により加点する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護理論	筒井真優美編集	南江堂	978-4-524-24729
2	看護に活かす中範囲理論	野川道子編著	メディカルフレンド社	978-4-8392-1612-2
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	やさしく学ぶ看護理論	黒田裕子	日総研	978-4-7760-1817-9
2	誰でもわかる看護理論	城ヶ端初子	サイオ出版	978-4-907176-40-2
3	看護診断のためのよくわかる中範囲理論	黒田裕子	学研	978-4-7809-1192-3

<参考書>

#### 前提学力等

・基礎看護学実習 を修了していること

#### 履修資格



講義名	基礎看護学実習						担当教員	伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子 / 千田 美紀子
講義コード	1500163	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号	141NUR219							

#### 授業概要

患者とのコミュニケーションや看護の実際などの学びを通して、病院という環境におかれた患者の生活行動における援助の必要性および看護の役割と責務について考察、看護を学ぶ上での自己の学習課題を明確にする。

#### 到達目標

- (1) 受持患者およびその家族の意思を尊重して接することができる。
- (2) 自己のコミュニケーションの分析や看護場面の見学などを通して、看護におけるコミュニケーションの意義について考察できる。
- (3) 病院という環境におかれた患者の生活行動を理解し、療養環境を整える援助を試みる中で、看護者としての援助の必要性を考える。
- (4) 実習病院の全体像および看護部の理念、病棟の構造と機能、看護の実際について把握し、ヘルスケアチームの中での看護者の役割と責務について考察できる。
- (5) 自己の健康管理も含め、学習者として、医療チームおよびグループの一員としての自覚と責任・協調性をもち、行動することができる。
- (6) 看護学生として望ましい身だしなみと態度で実習に参加できる。
- (7) 実習での学びをもとに、今後、看護を学んでいく上での自己の学習課題を明確にして記述できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	78%	目標に沿って評価する (1) 目標・評価用紙 10% (2) 実習記録1,3 24%
上記以外	22%	(5) カンファレンスでのディスカッション 10% (6) 身だしなみ・態度 12%

実習での言動や実施する基礎看護技術、実習記録の内容によって、実習目標毎に5段階評価（かなりできる、できる、普通、あまりできない、できない）し、点数化する（100点満点）。

#### 授業外学習

前期授業で学んだことについて復習した上で、実習に臨むこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、必要な知識・技術・情報を得る。

#### 前提学力等

他者とのコミュニケーション力、看護技術力を磨いておくこと。

#### 履修資格



講義名	基礎看護学実習						担当教員	米田 照美 / 伊丹 君和 / 関 恵子 / 千田 美紀子
講義コード	1500164	単位数	2	開講期	前期実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号	241NUR220							

#### 授業概要

病院で療養生活を送る受持患者を全人的に捉え、看護過程のプロセスに沿って看護実践を試みる中で、看護への理解を深める。看護実践にあたっては、患者の個別性に応じ、安全性、安楽性、自立・自律性を考慮した上で、科学的根拠に基づいて行う。

#### 到達目標

- (1) 受持患者およびその家族の意思を尊重し、適切な人間関係を形成できる。
- (2) 受持患者の発達課題を理解し、その家族も含めて現在おかれている状況や思いについて考察できる。
- (3) 療養生活を送る受持患者を全人的に捉えた上で健康上の問題（看護診断）を抽出し、生活行動の援助を中心に計画・実施し評価できる。
- (4) 自己の健康管理も含め、学習者として、医療チームおよびグループの一員としての自覚と責任・協調性をもち、行動することができる。
- (5) 看護学生として望ましい身だしなみと態度で実習に参加できる。
- (6) 実習での学びをもとに、今後、看護を学んでいく上での自己の学習課題を明確にして記述できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	84%	・目標・評価用紙 6% ・実習記録72% (フェイス・シート、データベース、データの解釈、情報の統合・分析、看護計画、看護記録)
上記以外	16%	・カンファレンスでのディスカッション 6%、 ・身だしなみ、態度 10% ・技術チェックを合格していること

実習での言動や実施する基礎看護技術、実習記録の内容によって、実習目標毎に5段階評価（かなりできる、できる、普通、あまりできない、できない）し、点数化する（100点満点）。

#### 授業外学習

これまでに学んだ基礎知識・技術について全て復習した上で、実習に臨むこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、必要な知識・技術・情報を得る。

#### 前提学力等

他者とのコミュニケーション力、看護技術力、思考力を磨いておくこと。

#### 履修資格



講義名	基礎看護技術						担当教員	伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子 / 千田 美紀子
講義コード	1500165	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	141NUR214							

#### 授業概要

人間は、生命を維持し、その人らしい人生を実現しようと日々生活行動を繰り返し行っている。しかし、ひとたび健康が脅かされたり自力で生活行動を維持できなくなったときに、生活行動を援助することは看護の専門性の第一義的な役割である。その過程において、対象との良好な人間関係を形成するために必要なコミュニケーション技術について学ぶ。また、生活行動および生活の場となる環境について看護の視点から考察し、病院という場で生活する患者の療養環境を整える看護技術を習得する。

#### 到達目標

- (1) 対象との良好な人間関係を形成するために必要なコミュニケーション技術の基礎を理解し、プロセスレコードを作成することができる。
- (2) 人がその人らしく生きていく上で重要な生活行動をとりあげ、その意味やメカニズム、行動の成り立ち等についてグループワークによって追究し、作成した資料等をもとに他者に説明できる。
- (3) 看護技術を行う上で基礎となる知識を習得できる。
- (4) 看護者として望ましい身だしなみや態度・言動について考え、実践できる。
- (5) 病院という場で生活する患者の「療養環境を整える」ための基礎となる看護技術について自主的に練習を重ね、看護技術の習得ができる。
- (6) 実施する看護技術について、安全性、安楽性、自立・自律性および根拠を追究した上でその方法をワーク用紙にまとめることができる。
- (7) 対象となる人の生活行動および生活の場となる環境をとらえ、科学的思考をもとに看護の視点から考察できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	・プロセスレコード10% ・療養環境を整える援助技術について20%： 安全性、安楽性、自立・自律性10%、根拠と手順10%
上記以外	50	・健康な「生活行動」について10%： グループワークによる資料化と発表 ・技術チェック21%（前半6%、後半15%）および自己練習9%

- \* 本科目は8月の基礎看護学実習 の前提科目となる。
- \* 本授業単位が不可の場合は実習に行くことができません。
- \* 本演習に出席することが大前提となる

#### 授業外学習

- 本授業では、実習室は大部屋の病室と考えて使用していく（清潔に身だしなみを整えた上で演習を行う）。
- \* したがって、皆さんも清潔な身だしなみに整えた上で実習室を使用しましょう。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン（湯 槇ます他訳）	日本看護協会出版会	
2	看護覚え書	フロレンス・ナイチンゲール（湯 槇ます他訳）	現代社	
3	実践看護技術学習支援テキスト 基礎看護学	川島みどり	日本看護協会出版会	

初回授業に持参すること

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生活行動援助の技術	川島みどり	看護の科学社	
2				
3				

適宜、授業中に資料も配布する

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	基礎看護技術						担当教員	伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子 / 千田 美紀子
講義コード	1500166	単位数	2	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	141NUR215							

#### 授業概要

人間の生活行動で基本となる「動く」「食べる」「排泄する」「身支度を整える」「入浴する」「眠る」ことの意義やメカニズム、基礎的知識を学んだ上で、生活行動に援助が必要となった人への看護技術の基本を習得していく。また、その学習過程の中で、看護技術を行う上で重要となる安全性、安楽性、自立・自律性および根拠を追究し、技術化への原理となる思考プロセスを学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 看護技術を行う上で基礎となる知識を習得できる。
- (2) 看護者として望ましい身だしなみや態度・言動について考え、実践できる。
- (3) 病院という場で生活する患者の「療養環境を整える」こと、および「動く」「食べる」「排泄する」「身支度を整える」「入浴する」「眠る」という生活行動を援助するための基礎となる看護技術について自主的に練習を重ね、技術習得ができる。
- (4) 実施する看護技術について、安全性、安楽性、自立・自律性を阻害する因子および対応策についてワーク用紙にまとめることができる。
- (5) 実施する看護技術について、より良い方法を試行錯誤・創造し、かつ科学的根拠を追究した上で、客観的かつ具体的にワーク用紙にまとめることができる。
- (6) 学習者としてグループの一員としての自覚と責任・強調性を持ち、行動することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	・各援助技術の課題ワーク40%： 安全性、安楽性、自立・自律性16%、根拠と手順24%
上記以外	60%	・小テスト10% ・技術チェック45%および自己練習5% *詳細は、演習時に配布説明する

- \* 本科目は基礎看護技術・基礎看護学実習の前提科目となる。
- \* 本授業単位が不可の場合は実習に行くことができません。
- \* 本演習に出席することが大前提となる

#### 授業外学習

- 本授業では、実習室は大部屋の病室と考えて使用していく（清潔に身だしなみを整えた上で演習を行う）。
- \* したがって、皆さんも清潔な身だしなみに整えた上で実習室を使用しましょう。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	実践看護技術学習支援テキスト 基礎看護学	川島みどり	日本看護協会出版会	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	考える基礎看護技術	坪井良子他	廣川書店	
2	看護実践の根拠を問う	小松浩子他	南江堂	
3	基礎看護技術	深井喜代子	メヂカルフレンド社	

適宜、授業中に資料も配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	基礎看護技術						担当教員	伊丹 君和 / 関 恵子 / 千田 美紀子
講義コード	1500167	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	241NUR216							

#### 授業概要

看護とは、健康問題に対する人間の反応を診断し、あらゆる健康のレベルにおいて、その人らしくより健康に生活できるよう支援することといえる。看護過程は、対象が健康な生活を送るにあたって障害となっているさまざまな健康問題を解決するために、個や集団に適用される手段・方法であり、看護アセスメントの基礎となる技術である。ゴードンの機能的健康パターンの枠組みに沿って具体的に事例展開を演習形式に進めながら、技術習得することを旨とする。

#### 到達目標

- (1) 看護過程を看護の方法論として捉えることができ、看護過程を構成する要素や代表的な看護診断について説明できる。
- (2) 科学的思考について理解し、練習事例のデータを解釈できる。
- (3) ゴードンの機能的健康パターンの枠組みに沿って、事例を用いて看護過程を展開することができる。
- (4) グループで立案した計画について、根拠や創意工夫した点も含めてロールプレイングを用いて発表できる。
- (5) 看護過程における記録、評価、サマリーについて理解し、事例をもとに説明できる。
- (6) 学習者としてグループの一員としての自覚と責任・強調性を持ち、行動することができる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習事例アセスメント10%</li> <li>・事例展開60%</li> <li>・サマリー10%</li> </ul>
上記以外	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト10% (看護診断の代表例)</li> <li>・グループワークによる資料化と発表 10%</li> <li>・演習時の不適切な言動や他者への迷惑行為 - 2点 / 回、無断遅刻・早退 - 4点 / 回、無断欠席 - 8点 / 回</li> </ul>

- \* 本科目は9月の基礎看護学実習 の前提科目となる。
- \* 本授業単位が不可の場合は実習に行くことができません。
- \* 本演習に出席することが大前提となる。

#### 授業外学習

\* いかなる欠席の場合も、その授業で出された課題ワークなどは提出する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護診断ハンドブック	カルペニート(新道幸恵ほか訳)	医学書院	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NANDA- 看護診断 定義と分類	T.ヘザー・ハードマン(日本看護診断学会監訳)	医学書院	
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	
3				

適宜、授業中に資料を配布する。

#### 前提学力等

1年次の専門基礎科目・専門科目における必修科目の単位を全て修得していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	基礎看護技術						担当教員	米田 照美 / 伊丹 君和 / 関 恵子 / 千田 美紀子
講義コード	1500168	単位数	2	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	241NUR217							

#### 授業概要

看護を实践するための基礎となる看護技術を習得する。特に、診療に関連する援助の基礎的な技術を習得するとともに、科学的根拠に基づいた安全性を重視した看護実践能力を養う。また、看護の対象となる人を総合的に捉えるためのフィジカルアセスメントの基礎を学び、看護を行う上で必要な観察力を養う。さらに、健康障害をもつ対象を理解し、状態に応じた看護技術を適用する方法の基礎的な知識について学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 人を総合的に捉え、看護に反映するための基礎的なフィジカルアセスメントを实践し、記述できる。
- (2) 観察技術の基本となるバイタルサイン測定技術について自主的に練習を重ねて習得する。
- (3) 看護を行う上での基礎的な観察とコミュニケーションをもとに患者の情報を収集し、観察したことを正常か異常か判断することができる。
- (4) グループワークを通して診療の補助の基礎的な看護技術について、安全性、安楽性、自立・自律性および根拠を追求しながら実践できる。
- (5) 看護者として望ましい身だしなみと態度・言動について考え、実践できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	定期試験30%
レポート課題	45%	課題レポート45%
上記以外	25%	小テスト5% 実技試験20% * 演習時の不適切な身だしなみが整っていない、他者への迷惑行為 - 2点/回、無断遅刻・早退 - 4点回、無断欠席 - 8点

\* 本演習に出席することが大前提となる(原則として欠席・遅刻は認めない)やむを得ない事情(忌引き、病欠、事故や災害など)の場合は、事前に連絡を入れる(各担当教員まで)。  
\* 本科目は8月の基礎看護学実習の前提科目となる。

#### 授業外学習

\* グループワークについて：学生間で互恵的な協力関係を築き、個々が責任を持ち、活発な意見交換を行うことによって、お互いが学び合える小集団技能を磨けるように努めよう。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護のためのフィジカルアセスメントアドバイス	守田美奈子(監修)	インターメディカ	
2	フィジカルアセスメントワークブック：身体の仕組みと動きをアセスメントにつなげる	内山 豊明	医学書院	4260018329
3				

テキストは毎回持参すること。第1・2回バイタルサインの測定の演習、フィジカルアセスメントの演習には、聴診器・血圧計等を持参すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨床看護の基礎となる新看護学テキスト	日野原重明	日本看護協会出版会	
2				
3				

#### 前提学力等

- 1) 1年次の専門基礎科目、専門科目における必修科目の単位をすべて修得していることが望ましい。
- 2) 履修資格として基礎看護技術、基礎看護実習を修得していること。

#### 履修資格



講義名	クリティカルケア実践演習						担当教員	荒川 千登世 / 生田 宴里
講義コード	1500181	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	441NUR322							

#### 授業概要

この「クリティカルケア実践演習」では、臨床看護師の思考プロセス（臨床推論・臨床判断）を理解することや、救命救急センターなどの施設見学をとおして、クリティカルな状況にある対象者への看護について、発展的に考えていきます。

- 1) 成人クリティカルケア演習・実習での学びや課題をふまえ、クリティカルな状況にある対象者（患者および重要他者）への看護について、発展的に考察する。
- 2) 臨床看護師の思考プロセス（臨床推論・臨床判断）について、事例やシミュレーションをとおして学ぶ。
- 3) クリティカルな状況にある対象者の特性や、クリティカルケアの場の特殊性を理解する。（施設見学）
- 4) 地域における「いのち」をまもるシステムについて知る。（施設見学）
- 5) 「いのち」「くらし」を支える看護について考察する。

第1回に内容やスケジュールの調整をおこないます。  
6人以下の場合、開講しないことがあります。

#### 到達目標

- 1) 成人クリティカルケア演習・実習での学びや課題をふまえ、クリティカルな状況にある対象者（患者および重要他者）への看護について、発展的に考察する。
- 2) 臨床看護師の思考プロセス（臨床推論・臨床判断）について、事例やシミュレーションをとおして学ぶ。
- 3) クリティカルな状況にある対象者の特性や、クリティカルケアの場の特殊性を理解する。（施設見学）
- 4) 地域における「いのち」をまもるシステムについて知る。（施設見学）
- 5) 「いのち」「くらし」を支える看護について考察する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	最終レポート20%
上記以外	80%	参加状況（ワーク、プレゼン、ディスカッション、施設見学）80%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

「成人クリティカルケア実習（編入生は相当する科目）」を履修していること

#### 履修資格





講義名	病理学						担当教員	安原 治
講義コード	1500195	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR204							

#### 授業概要

正常の人体の構造と機能はいろいろな侵襲によって傷害され、疾病がおこる。病理学では、病気を起こす原因と、それぞれの原因によって病変が成立する機序を学ぶ。これによって、各種疾病の基本的な疾患概念を理解することができる。その知識と正しい理解は医療の各分野における基礎として必須である。本講義では、解剖生理学の知識を基盤として、臨床医学・看護学への架け橋となるよう授業する。総論として、細胞損傷、炎症、免疫、感染症、循環障害、代謝障害、腫瘍、先天性異常、環境と栄養の9つのカテゴリーについて解説する。各論では、各臓器系の代表的な疾患を取りあげ、疾患の発生機序と病態について理解を深める。とくに、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科については、病態とともに治療についても触れる（皮膚科系、眼科系、耳鼻咽喉科系の「疾病論」として位置づける）。

#### 到達目標

- (1) 細胞傷害・変性・細胞死の原因を説明できる。
- (2) 生体への侵襲に対する防御機構について説明できる（炎症・免疫）。
- (3) 循環障害、代謝障害、先天異常、免疫異常、感染症、腫瘍、中毒性疾患など、主要な病態について説明できる。
- (4) 神経系、皮膚科領域、眼科領域、耳鼻咽喉科領域について、代表的な病気を挙げ、その成立過程と病態を説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	選択問題・穴埋め問題 70点
レポート課題	30	レポート 3回 (10点 X 3 = 30)
上記以外		

#### 授業外学習

課題3題を課し、レポートの提出を求める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 病理学	大橋健一、他	医学書院	978-4260019866
2				
3				

神経系、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、臨床放射線については教科書を指定しないが、授業ではおもに「系統看護学講座」シリーズと「病気が見え

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する

#### 前提学力等

解剖生理学Iについて理解していることを前提とする。

#### 履修資格



講義名	微生物学						担当教員	北川 善紀
講義コード	1500205	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR205							

#### 授業概要

本講義では、医療従事者に必要不可欠な微生物学や免疫学を学習します。全15回の講義のうち、9回目までの講義では、(1)微生物(細菌や真菌、原虫、ウイルス、プリオン)の特徴や構造、(2)感染と発症の関係、(3)代表的な感染源と感染経路、(4)宿主の感染防御機構(免疫機構)、(5)滅菌と消毒、(6)ワクチンと予防接種など、感染症の治療や予防のために必要な基礎知識を学びます。その後の講義では、臨床上重要な病原微生物について、その性状や病原性、感染経路、治療と予防の要点を学びます。

授業は、教科書に書かれている基本的な事項に加え、最近のニュースなどで話題になった感染症関連のトピックを取り上げながら進めていきます。

#### 到達目標

- (1) 4種類の微生物について、それぞれの基本的な性状を理解し、説明できるようになる。
- (2) 病原体が体内に侵入後、発症に至る経過について理解し、説明できるようになる。
- (3) 主要な感染源と感染経路を学び、その予防方法を実践するための知識を身に付ける。
- (4) 微生物感染に対する免疫機構の仕組みを理解し、概要を説明できるようになる。
- (5) 医学的な清潔の概念を学び、清潔を維持する原理と方法を理解し、説明できるようになる。
- (6) 主な病原微生物の性状や病原性、感染経路、治療法、予防法を理解する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	授業概要や授業計画、到達目標に挙げた項目の全範囲を対象とした試験を行い、評価する。
レポート課題	0	
上記以外	0	

#### 授業外学習

微生物学に限らず全教科において予習と復習は必須であると考えますが、特に微生物学は覚えるべき用語が多いことなどから、予習と復習を強くお勧めします。詳しくは、最初の講義の時に説明します。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	微生物学	吉田真一	医学書院	ISBN978-4-260-03183-7
2				
3				

授業では毎回、資料としてプリントを配布しますが、教科書を使う場合もありますので講義時には用意してください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	戸田細菌学	吉田真一、柳雄介、吉開泰信	南山堂	ISBN978-4-525-16114-9
2				
3				

「はたらく細胞」(清水茜 著、講談社)はコミックですが、免疫学の勉強を始める方には読みやすく、概要や免疫細胞の働きを理解しやすいと思います。

#### 前提学力等

特にありません。

#### 履修資格



講義名	健康教育論						担当教員	小島 亜未
講義コード	1500212	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	441NUR321							

#### 授業概要

健康教育の基本的知識を理解し、健康教育の目的、方法を学ぶ。行動変容の関係理論を理解するだけでなく、看護の対象のセルフケア能力を高める必要性を理解し、セルフケア能力を獲得する健康教育方法について事例を用いながら学習する。また、グループを単位とする活動の特徴についても理解し、ヘルスプロモーション推進に向けた健康教育のあり方についても考える。

#### 到達目標

(1)健康教育についての理念と概念を説明できる。(2)看護職が行う健康教育の目的、方法を説明できる。(3)健康教育における基礎的な理論を説明できる。(4)看護職が実施する健康教育のありかたについて述べるができる。(5)対象の持つ健康課題に応じた健康教育が企画、実施、評価できる(6)グループ活動の意義を理解し、協働して課題に取り組むことができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標(1)から(4)について、論述式および穴埋め式等により試験および小テストを行う。(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標(5)について、計画書や発表内容で評価する。(40%)到達目標(6)について、課題への取り組み状況をみて評価する。(10%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	公衆衛生学（看護）						担当教員	草野 文嗣 / 小林 孝子
講義コード	1500213	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	234NUT243, 241NUR212							

#### 授業概要

公衆衛生とは、全ての人間及びその集団を対象とする活動であり、それ故全ての人間が、より良い状態で生活し、生涯を終えることを追及していることを理解する。また、全ての人の健康状態がどのように時代と共に変化し、守られてきているかを、全ての生活基盤において観察し、それを基に、疾病予防・健康増進のためにどのような活動や努力が必要か、生活環境や食物等との関係も含め理解する。  
また、これから先の人口高齢化、多病、多死、人口減少社会に対し、現代に生きる人間が如何に対処すべきかを考える。

#### 到達目標

公衆衛生活動が、全ての人間の健全な生活にどのように関わっているかを理解する。  
全ての生活環境、食生活等が、人間の一生に関して如何に大きく関わっているかを理解する。  
現在のわれわれの生活内容、健康状態が、将来の世代に如何なる影響を与えるかを理解し、説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「わかりやすい公衆衛生学」	清水 忠彦 , 佐藤拓代 (編集)	ヌーヴェルヒロカワ	978-4-86174-066-4
2	「養生訓」に学ぶ! 病気になるない生き方	下方 浩史	素朴社	978-4903773179
3				

「わかりやすい公衆衛生学」は初回授業時に持参すること

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

国民衛生の動向（厚生労働統計協会）

#### 前提学力等

人体解剖・生理を習得し、微生物、病理を理解していること。

#### 履修資格





講義名	公衆衛生看護学						担当教員	馬場 文
講義コード	1500214	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	441NUR330							

#### 授業概要

講義期間の前半は公衆衛生看護の対象と保健活動について、さまざまな方向から理解することを目標とする。公衆衛生看護の対象は、小児、母子、成人、高齢者などあらゆるライフステージの人々である。さらに、さまざまな健康課題を持つ人々も対象となる。これらの対象に行う保健活動について、各ライフステージおよび健康課題ごとに、現在までの保健統計の動向・保健活動の目的・行政における保健施策体系・法的根拠についてテキストと配布資料をもとに講義を行う。次いで講義期間の後半は、行政を中心に展開されている保健活動の方法について体系的に理解することを目標とする。公衆衛生看護技術の総体である保健指導の定義と具体的な方法について、テキストと配布資料をもとに講義を行う。

#### 到達目標

- (1) ライフサイクル別の保健活動について、保健統計の動向、法的根拠、各保健活動の目的、保健施策体系および施策の内容を述べることができる。
- (2) 健康課題別の保健活動について、保健統計の動向、法的根拠、各保健活動の目的、保健施策体系および施策の内容を述べることができる。
- (3) 対象の特性（ライフサイクル・健康課題・個人・家族・集団・組織など）に応じた、保健指導の目的・方法・評価について述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1) : 20% 到達目標(2) : 15% 到達目標(3) : 25%
レポート課題	40	到達目標(1) : 15% 到達目標(2) : 25% いずれも、第2回～第12回の授業の予習として課す宿題を評価対象とする。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

第2回～第12回の授業については、法律・制度・保健統計の動向等に関する内容を、予習課題として事前に指示する。各自で教科書や参考図書を用いて調べ、予習課題を当該授業日までに提出すること。授業はその課題を終えていることを前提にすすめる。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術第3版	中村裕美子 他	医学書院	9784260021937
2	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動第4版	中谷芳美 他	医学書院	9784260031875
3				

2年次の公衆衛生看護学概論で購入している「国民衛生の動向」（厚生労働統計協会）を、教科書と合わせて持参すること。（特に初回～第12回）

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公衆衛生マニュアル	柳川洋, 中村好一 編集	南山堂	978-4-525-18733-0
2	母子保健マニュアル	高野陽 他	南山堂	978-4-525-18447-6
3				

各授業においても、参考資料等のプリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	公衆衛生看護学						担当教員	馬場 文 / 西内 恭子
講義コード	1500215	単位数	2	開講期	前期後半	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

本講義はオムニバス方式で展開し、社会・環境と公衆衛生看護活動、学校における学校保健活動、歯科保健活動、職域における産業保健活動についての基本的考え方を学ぶ。

社会・環境と公衆衛生看護活動：社会環境要因に関連した健康課題や健康格差などの今日的課題について学び、まちづくりやヘルスプロモーションの視点から課題の解決方法と看護職の役割を考察する。

学校保健活動：学校における看護職の役割について理解し、今日の問題である生活習慣病の若年化や引きこもり・不登校・いじめ等の学校保健の課題とその解決のための看護職の基本的役割についても学ぶ。

歯科保健活動：歯科保健における課題と活動を学び、看護職の役割を考察する。

産業保健活動：産業保健活動の目的は働く人々が労働と健康の調和を図り、心身ともに健康で充実した職業生活が出来るよう支援することである。産業保健活動の

#### 到達目標

##### 【社会・環境】【学校保健】【歯科保健】

- (1)公衆衛生看護において社会や環境への働きかけが重要であることを説明することができる。
- (2)社会や環境に関連した健康課題について説明することができる。
- (3)学校保健における看護職者の役割について述べるすることができる。
- (4)学校保健の課題とその解決方法を考え、述べるすることができる。
- (5)歯科保健の基本的知識を説明することができる。

##### 【産業保健】

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	【社会・環境】【学校保健】【歯科保健】 (1)定期試験(10%) (2)定期試験(10%)
レポート課題	50	【産業保健】 中間レポート 20% 労働者の健康課題について、その背景を調べ、産業看護の視点でさらに深めたい知識をリサーチする。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

【産業保健】集中講義なので予習復習は難しいと思いますが、授業の中のキーワードについて知識を深めてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座3対象別公衆衛生看護活動	中谷芳美ほか	医学書院	
2	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術	中村裕美子ほか	医学書院	
3				

授業で資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	国民衛生の動向			
2				
3				

#### 前提学力等

【産業保健】3年次の実習に入る前が望ましい。

#### 履修資格



講義名	公衆衛生看護学概論						担当教員	小林 孝子
講義コード	1500216	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR235-C							

#### 授業概要

地域で生活する人びと（小児・母子・成人・高齢者等）の健康障がいの予防、健康の保持・増進、健康障がいを持つ人びとを対象とする公衆衛生看護学の概念、意義、基本的理念について学ぶ。またそれらを実践する際の活動の視点、活動の領域、展開方法などの基本的知識について理解する。さらに日本や諸外国の公衆衛生看護活動の成立基盤や歴史、活動に用いられる主要な公衆衛生学の理論、医療・保健・福祉行政や法制度などを踏まえた上で、公衆衛生看護学のあり方や現状と課題、今後の展望について学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 公衆衛生看護の理念と概念を説明できる。それらの知識を元に、自らの健康観や地域をみる視点について述べることができる。
- (2) 公衆衛生看護活動の場と提供するサービスを説明できる。
- (3) 公衆衛生看護学に関する法律や社会制度およびそれらの関係性について説明できる。
- (4) 公衆衛生看護の歴史に関して、事象や意義について説明できる。
- (5) 健康に関する概念と変遷およびプライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションについて説明できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	55	(1) 定期試験 (10%) (2) 定期試験 (10%) (3) 定期試験 (10%)
レポート課題	9	(1) レポート (3%) (2) レポート (3%) (5) レポート (3%)
上記以外	36	(1) レスポンスペーパー (2%) グループ討議・発表 (5%) (2) レスポンスペーパー (2%) グループ討議・発表・提出物 (7%) (3) 小テスト (10%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論」	奥山則子他	医学書院	
2	「国民衛生の動向」		厚生労働統計協会	
3				

教科書は初回授業から持参すること

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は講義中、適宜紹介する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	国際看護学						担当教員	近藤 麻理 / 森 恵
講義コード	1500217	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	441NUR331							

#### 授業概要

国際的視野から看護を展開するには、どのような知識が必要であるかを理解したうえで、諸外国の人々の健康と保健・医療の現状について知り、人々の健康に影響を及ぼす人口学的、社会経済学的、文化的な要因について考えていきます。また、国際看護の基本概念ならびに世界の健康問題をふまえ、異文化の価値観を尊重した看護実践について、事例を通して発展的に考えられるようにします。

#### 到達目標

- (1) 世界の健康課題について人口動態等から説明することができる。(世界人口動態の復習)
- (2) 国際機関の役割について理解することができる。(国際機関の名称と役割の予習と復習)
- (3) 国際看護の基本となる概念や実践活動を理解することができる。(PHC、MDGs、人間の安全保障の復習)
- (4) 国際的看護活動の実際を知り、看護の役割を考えることができる。(対象者理解を深めるための映像や書籍による復習)

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	70	到達目標(1)(2)(3)については、小レポート(30%) 到達目標(4)については、課題レポート(40%)
上記以外	30	授業時のグループによるディスカッションへの参加度と態度(30%)を総合的に評価する。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

事前事後の学習として、授業の中で紹介した書籍を読み、より深い理解を求める。また、紹介する映画についても鑑賞し、アジアやアフリカへの理解に役立てることを期待する。国際的なニュースについて耳を傾け、理解しようとする姿勢を望む。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知って考えて実践する国際看護	近藤麻理	医学書院	978-4-260-03536-1
2				
3				

資料等は、授業中にプリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	災害看護学						担当教員	増尾 佳苗 / 岩永 尊
講義コード	1500221	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	441NUR332							

#### 授業概要

現在起こりうる災害、大規模事故や感染症などによる健康危機の発生と対応の必要性を理解する。その上で、危機予防、初動対応、被害者の健康管理、医療提供、精神保健対策など主要な対策、管理における看護職の役割、基本的な知識と技術を学ぶ。

#### 到達目標

国内の災害について理解し、その対応と対策について理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	50%	
上記以外	50%	授業参加度・態度：50%（内訳：授業内課題(意見・感想)20%、グループワーク参加度・共有30%）

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

集中講義となるため、授業内容に関連することについて調べ、自分の考えを説明できるようにしておくこと。講義には必ず教科書を持参すること。また、実際の災害救護活動について被災者が受けた精神的苦痛や身体的苦痛について伝える事が多い授業なので被災者に共感できる授業態度

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	災害看護学・国際看護学	浦田喜久子	医学書院	9784260020053
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	在宅看護学演習						担当教員	森本 安紀 / 河野 益美 / 未定 *
講義コード	1500222	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	341NUR316							

#### 授業概要

小児から、高齢者までのあらゆる年齢、さまざまな病態期にある在宅療養者への看護を学ぶ。おもな内容として、在宅療養の状況、病態期や介護度が異なる事例を通して療養者および家族の生活を継続するために必要なセルフケア能力の維持・促進とQOLの向上するための視点を培う。さらに、在宅療養を支える社会資源を理解し、協働するために必要な連携と、その中での看護職の役割について理解する。これらの学びを統合して、療養者および家族の課題達成のために必要な在宅看護過程の展開について、情報の整理・アセスメント・計画立案・実施に至るプロセスをグループワークをとおして学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 在宅療養者と家族を生活者として理解し、そのセルフケア能力を維持・促進するための具体的な援助方法を理解する
- (2) 医療管理の必要な在宅療養者の特徴を理解し、看護のポイントを述べることができる
- (3) 看護過程を展開し、病態期や環境（物的環境・人的環境）に応じた療養者と家族の課題を考えることができる
- (4) 在宅療養者と家族の生活を支援するために必要な看護を創意工夫する力を高めることができる
- (5) 計画的・自主的に学習を進め、グループワークに積極的に参加することができる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題	20	レポート4% 課題16%
上記以外	30	グループワーク演習30%

- 1) 3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
- 2) 期日に間に合わなかった、提出物は評価の対象としない。

#### 授業外学習

ゴールシートを活用し、目標到達に向けての自己学習をすすめること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	《系統看護学講座 統合分野》 在宅看護論		医学書院	978-4-260-02762-5
2	ナーシンググラフィカ在宅看護論 在宅療養を支える技術		メディカ出版	978-4-8404-6134-4
3				

講義で教科書を使用するため、必ず持参すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

授業内で随時提示する。また、在宅看護学概論、在宅看護学の資料も活用すること。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	在宅看護学概論						担当教員	河野 益美
講義コード	1500223	単位数	1	開講期	前期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR231-C							

#### 授業概要

在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的背景を踏まえ、在宅看護の概念、わが国の在宅ケア・在宅看護に関連する制度やシステムについて教授する。さらに、健康障害を持ちながら在宅で生活する人々と、その家族の生活の質の向上を目指した看護を実践するために必要な基本的な考え方と基礎知識を教授する。

#### 到達目標

- (1) 在宅看護の対象・目的・機能を理解し、説明することができる。
- (2) 生活の場である在宅での看護について理解し、説明することができる。
- (3) 訪問看護を含む在宅ケアシステムについて理解し、説明することができる。
- (4) 在宅療養を支える制度と社会資源を理解し、説明することができる。
- (5) 社会資源の活用における看護職の役割について理解し、説明することができる。
- (6) 在宅看護において生じやすい倫理的問題について、理解することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	筆記試験
レポート課題	20	レスポンスペーパー、課題レポート等
上記以外		

- (1) 到達目標に対する達成度は試験およびレスポンスペーパー、課題レポートの内容で評価する。
- (2) 3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
- (3) 期日に間に合わなかった提出物は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

事前学習については初講時に示す。  
ゴールシートを用いて、自己の学習目標を明確にし、目標達成に向け能動的に学習を進めること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	《系統看護学講座 統合分野》 在宅看護論		医学書院	978-4-260-02762-5
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で随時提示する。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	在宅看護学実習						担当教員	森本 安紀 / 馬場 文 / 川口 恭子 / 河野 益美 / 未定 *
講義コード	1500225	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号	341NUR317							

#### 授業概要

訪問看護ステーションでの実習をとおして、在宅療養者とその家族の健康上の問題を理解し、生活の場に応じた看護の役割と方法について学ぶ。受け持ち事例については、看護過程の展開を行い、看護の実践を行う。また、訪問看護ステーションの活動の実際から、地域におけるチーム医療及び他機関・多職種と協働する看護の役割を理解する。

#### 到達目標

- 1) 療養者と家族の健康課題をさまざまなライフステージや生活とつなげて理解できる
- 2) 療養者をとりまく環境（物的環境・人的環境）を把握して在宅看護の役割を理解できる
- 3) 受け持ち事例をとおして療養者と家族の在宅看護の看護過程が展開できる
- 4) 多様な場で提供される看護の特性を考え継続看護における在宅看護の役割を理解できる
- 5) 療養者と家族を支える社会資源の活用とその中で必要な多職種連携や調整を理解できる
- 6) 地域の特性をふまえた在宅看護のあり方について理解できる
- 7) 実習生として適切な態度と責任のある言動で実習に臨むことができる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習への取り組み、日々の記録物、レポートから総合的に評価する

#### 授業外学習

要項を熟読し、事前学習や、日々の実習の準備を行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

在宅看護学概論・在宅看護学・在宅看護学演習の教科書・資料を活用すること。

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	在宅看護学						担当教員	河野 益美
講義コード	1500226	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR232							

#### 授業概要

在宅で療養する人々とその家族の生活の質向上を目指した看護を実践するために必要な基礎知識を教授する。具体的には、在宅ケア・在宅看護が効果的に展開されるために必要な在宅ケアネットワークの形成とその仕組みづくりを学ぶ。また、家族支援やケアマネジメント、看護過程の展開など在宅看護の支援の基本を学び、在宅看護の実践能力を養う。

#### 到達目標

- (1) 地域包括ケアシステムについての概要と看護職の役割を説明できる。
- (2) 在宅ケアシステムにおけるケアマネジメントの必要性と方法を説明できる。
- (3) 在宅看護における家族支援の必要性について説明できる。
- (4) 在宅看護における看護過程の展開方法が理解できる。
- (5) 在宅看護における危機管理について説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	定期試験
レポート課題	20	レスポンスペーパー、レポート課題など
上記以外		

- (1) 到達目標に対する達成度は試験およびレスポンスペーパー、課題レポートの内容で評価する。
- (2) 3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
- (3) 期日に間に合わなかった提出物は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

事前学習については初講時に示す。  
ゴールシートを用いて、自己の学習目標を明確にし、目標達成に向け能動的に学習を進めること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	《系統看護学講座 統合分野》 在宅看護論		医学書院	978-4-260-02762-5
2				
3				

2回生前期で使用した教科書を継続して使用する

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で随時提示する。

#### 前提学力等

在宅看護学概論の履修が望ましい。

#### 履修資格



講義名	疾病論						担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 金子 隆昭 / 高橋 完 / 下司 徹
講義コード	1500311	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR207							

#### 授業概要

人体のしくみは神経系、内分泌系、循環・免疫系の縦系と各臓器別の横系によって織りなされている。この人体の正常構造と機能を理解した上で、循環器疾患、消化管疾患、肝臓・胆嚢・膵臓疾患、内分泌・代謝性疾患、腎・尿路疾患、脳神経疾患の病態生理、症状、検査と治療法の基礎知識を学び、看護に必要な病気の理解を深める。

#### 到達目標

- (1) 臓器別に主要疾患の成り立ち(原因)と症状・徴候が説明できる。  
(2) 臓器別に主要疾患の診断法および治療法が説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題	50	
上記以外		

各担当教員の配点の合計を総合点数とする

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学〔2〕～〔8〕、〔10〕、〔11〕		医学書院	
2	疾病と検査		南江堂	
3				

#### 前提学力等

1 回生時の授業科目「体のしくみと機能 および 」を履修・理解していること。

#### 履修資格



講義名	小児看護学概論						担当教員	古株 ひろみ
講義コード	1500321	単位数	1	開講期	前期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR225-C							

#### 授業概要

子どもの権利と、代表的な発達理論を踏まえ、子ども（胎児期から新生児期を含む）の成長発達の概念と成長発達過程について理解し、健全な成長発達を促進する援助技術力を育成する。小児看護の役割や意義について教授する。

#### 到達目標

成長発達の特徴・共通性・影響因子が理解できる  
 発達に関する諸理論について理解できる  
 小児各期の身体・運動・心理・社会的発達とその評価方法が理解できる  
 年齢に応じた遊びや生活援助について説明できる  
 子どもの権利が理解できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	ルーブリック参照
レポート課題	30	ルーブリック参照
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしないこととする

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学	濱中喜代	メジカルフレンド社	
2				
3				

テキストは初回授業から持参すること

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	疾病論						担当教員	古株 ひろみ / 荒川 千登世 / 安原 治 / 越山 雅文 / 吉川 浩平 / 中野 徹 / 頭
講義コード	1500325	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR208							

#### 授業概要

人体のしくみは神経系、内分泌系、循環・免疫系の縦系と各臓器別の横系によって織りなされている。この人体の正常構造と機能を理解した上で、循環器疾患、消化管疾患、肝臓・胆嚢・膵臓疾患、内分泌・代謝性疾患、腎・尿路疾患、脳神経疾患の病態生理、症状、検査と治療法の基礎知識を学び、看護に必要な病気の理解を深める。

#### 到達目標

- (1) 臓器別に主要疾患の成り立ち(原因)と症状・徴候が説明できる。  
(2) 臓器別に主要疾患の診断法および治療法が説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	90	
レポート課題	10	
上記以外		

各担当者の配点の合計を総合点数とする

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学〔2〕～〔8〕、〔10〕、〔11〕		医学書院	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

1 回生時の授業科目「解剖生理学 および 」「病理学」を履修・理解していること。

#### 履修資格





講義名	疾病論						担当教員	越山 雅文 / 甘佐 京子 / 牧野 耕次
講義コード	1500326	単位数	1	開講期	後期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR209							

#### 授業概要

<前半4回>  
 女性の性ステロイドホルモンの調整機構を理解した上で、その異常を学ぶ。  
 更年期の病態生理を学ぶ。  
 女性の膣・外陰・子宮・卵巣のそれぞれの臓器における疾患の病態を理解した上で、診断や治療を学ぶ。  
 新生児における代表的な疾患の病態を理解した上で、診断と治療を学ぶ。  
 <後半4回>  
 精神医学が対象としている代表的な疾患の病因、病理、疫学および、代表的な精神科治療の概要について学ぶ。

#### 到達目標

<前半>  
 (1) 成人女性の性ホルモンの調整機構が説明できる。  
 (2) 月経異常の病態生理が説明できる。  
 (3) 婦人科疾患の病態生理と診断、治療を説明できる。  
 (4) 新生児の特徴を理解し説明できる。新生児の代表的疾患に関して、病態生理の説明と診断、管理ができる。  
 <後半>  
 (1) 代表的な精神疾患の病因、病理について説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	婦人科疾患 & 新生児疾患：100% (60点以上) 精神疾患に関しては、小テストを3回実施(小テスト60%定期テスト30%)
レポート課題		
上記以外		

成績は、得点率を婦人科疾患50%、精神疾患50%とし、双方合わせて100点満点に換算して最終得点を出します。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学9 女性生殖器	末岡浩 他	医学書院	978-4-260-02184-5
2	新生児学入門	仁志田 博司	医学書院	978-4-260-01433-5
3	精神看護学	川野雅資 編	ヌーベル廣川	978-4-86174-065-7

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	精神保健論						担当教員	甘佐 京子 / 牧野 耕次 / 下通 友美
講義コード	1500327	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR211							

#### 授業概要

精神保健(mental health)の概念を理解し、心の機能や働きについて学習する。また、ライフサイクルに応じた精神社会的発達をベースに、発達年齢における心の健康問題についても学習する。さらに、様々な生活の場において生じる心の健康問題や、それに対する予防や社会的な施策についても学びを深める。特に、生活の場については、滋賀県における心の健康問題の現状や、それに対する取り組み状況についても情報として提供していく。

#### 到達目標

精神保健の概念を理解し、心の機能や働き、またその発達過程について理解する。  
エリクソンの発達理論を基に、ライフサイクルにおける心理社会的発達について理解する。  
様々な社会病理現象を通して、様々な生活の場や状況における、心の健康問題および心の健康維持増進について考えることができる。  
自己の心の発達および、心の健康維持増進について考えることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	こころの機能と働き・ストレスと危機についての理解10% ライフサイクルと心の健康についての理解 20% 生活の場と心の健康についての理解10%
レポート課題	30	課題 : 自分に生じた防衛機制 3~4 : レポートの提出ができ、防衛機制の中から3点選び、自分が今までに無意識に行っていた行動と防衛機制について、例を出して説明できるが、解釈の誤りが見られる。
上記以外	20	毎授業事のレスポンスペーパーによるミニレポートの提出(感想・質問等)

レスポンスペーパーの未提出(理由なく)は、1回につきマイナス5点

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学		南江堂	
2	精神看護学		南江堂	
3				

人間看護学部の学生は必ずテキストを購入すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生涯人間発達論	服部祥子	医学書院	
2	精神看護学ノート	武井麻子	医学書院	
3	精神看護学	吉松和哉	ヌーベル廣川	

内容は看護のテキストに限定せずプリントを配布する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	栄養学						担当教員	関根 愛莉
講義コード	1500328	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR210							

#### 授業概要

科学的な看護実践を導き出すために必要な栄養学を学ぶ。  
 栄養素の種類や代謝、食品の成分や機能、各種疾患やライフステージに対する栄養素のかかわりについて理解する。

#### 到達目標

- (1) 各栄養素の消化、吸収、代謝を理解する。
- (2) 栄養状態のアセスメントの重要性とその方法について理解する。
- (3) 各栄養素の供給源となる食品素材について理解する。
- (4) 疾患、ライフステージ別の栄養代謝状態の特徴と、それに応じた栄養管理について理解する。
- (5) 栄養学と健康との関わりについて自分の考えを説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標(1)～(4)について定期試験で評価する。
レポート課題	20	到達目標(5)についてレポート課題を課す。
上記以外	15	レスポンスシートにより、授業の理解度と授業に対する取り組みの態度を評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能	小野 杉山 鈴木 外山 中村	医学書院	978-4-260-01993-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	小児看護学						担当教員	古株 ひろみ / 川端 智子 / 玉川 あゆみ
講義コード	1500329	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR226							

#### 授業概要

小児期の主な疾患 とその病態生理を理解し、健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響について考え、健康障害に応じた看護過程を実践する上での必要な基本的知識や看護援助方法について学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 小児期の主な疾患とその病態生理が理解できる
- (2) 健康障害が子どもの成長発達や生活およびその家族に及ぼす影響について説明できる
- (3) 健康を障害された子どもとその家族のQOLを高める看護ケアが説明できる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	5	胎児循環と新生児循環などのレポート
上記以外	25	小テスト (毎回実施)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
2	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	小児看護学演習						担当教員	玉川 あゆみ / 古株 ひろみ / 川端 智子
講義コード	1500345	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

小児看護学概論、小児看護学を踏まえて、様々な健康レベルや成長発達に応じた援助方法や技術 について学ぶ。また健康障害がどのように子どもの成長発達や家族に影響するのかを事例を通して理解し、小児看護実践を行うために必要な知識・技術・倫理観を習得する。

#### 到達目標

- (1) 事例を通して子どもを対象とした看護過程の展開ができる。
- (2) 小児看護における援助技術を習得できる。
- (3) 子どもの援助について発達段階をふまえた説明ができる。
- (4) 小児看護においてよく遭遇する倫理的な問題について解決方法を具体的に述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(2)について評価する。
レポート課題	50	到達目標(1)(3)は看護過程個人ワーク15点、看護過程グループワーク(プレゼンテーションを含む)10点で評価する。 到達目標(2)(3)は技術演習レポート20点で評価する。
上記以外		

欠席 - 8点/回、遅刻、早退は-4点/回、演習時の不適切な身だしなみや他者への迷惑行為 - 2点/回減点とする。  
ただし、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

#### 授業外学習

技術演習のレポート・看護過程の展開などの課題有り

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学概論 小児保健	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3285-6
2	健康障害をもつ小児の看護	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3286-3
3	小児看護技術	添田啓子	メヂカルフレンド社	978-4-8392-1593-4

小児看護技術の教科書を用いて技術演習を行います。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

専門基礎科目など基礎的知識  
小児看護学概論、小児看護学を履修していることが望ましい

#### 履修資格



講義名	小児看護学実習						担当教員	川端 智子 / 古株 ひろみ / 玉川 あゆみ
講義コード	1500365	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

入院中の子どもの疾患・治療・成長発達・生活・家族の状態を総合的に理解し、子どもと家族のニーズをふまえ、個別性に応じた計画的な看護実践が展開できる基礎的な能力を養う。

#### 到達目標

- (1) 患児の成長発達に応じたコミュニケーションや遊びができる。
- (2) 小児期の健康障害が、家族に及ぼす影響を理解できる。
- (3) 看護ニーズに関する情報を系統的に収集し、理論的根拠に基づいたアセスメント・診断・計画立案ができる。
- (4) 患児の個別性に応じた安全なケアを実施し、計画の評価・修正ができる。
- (5) 患児とその家族の人権を尊重し、個人情報・プライバシーを保護できる。
- (6) 看護者として主体性と協調性を持った意欲的な実習への取り組みができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標は実習記録、ケアやカンファレンスの内容、面談などから実習期間を通し実習評価項目に基づき総合的に評価する。評価比率は(1):14%、(2):6%、(3):29%、(4):19%、(5):8%、(6):24%である。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

遅刻・早退は-7点/回、欠席-14点/回とする。  
学校感染症による出席停止の場合は追実習を実施する。

#### 授業外学習

子どもの身体的および心理・社会的発達、認知・言語的発達  
子どもに特徴的な症状や疾患と看護

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学概論	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3285-6
2	健康障害をもつ小児の看護	濱中喜代	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3286-3
3	小児看護技術	添田啓子	メヂカルフレンド社	978-4-8392-1593-4

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

履修資格となる修得科目の学習内容が習得できている

#### 履修資格



講義名	成人看護学概論						担当教員	糸島 陽子
講義コード	1500452	単位数	1	開講期	後期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR221-C							

#### 授業概要

成人期の特徴（発達段階、発達課題、健康問題）、生活と健康を守るシステム、成人保健活動の取り組みについて学ぶ。また、成人看護に活用する理論を用いて、各局面（急性期・回復期・慢性期・終末期）の特徴と基本的な看護について考える。

#### 到達目標

- (1) 成人期にある人の特徴を理解できる。  
(2) 成人期にある人の生活と健康を守る保健・医療・福祉システムについて理解できる。  
(3) 健康問題の各局面（急性期・回復期・慢性期・終末期）の特徴と基本的な看護について理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(1) 20% 到達目標(2) 20% 到達目標(3) 20%
レポート課題	40%	到達目標(1) 10% 到達目標(2) 10% 到達目標(3) 20%
上記以外		

#### 授業外学習

成人看護学概論を受講するにあたり、青年期・壮年期・向老期にある成人期のいずれか1名にインタビューを行い、成人期の特徴について理解を深める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシンググラフィカ 成人看護学 成人看護学概論	安酸史子	MCメディカ	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

1年次前期の必修科目を履修している

#### 履修資格



講義名	成人クリティカルケア演習						担当教員	荒川 千登世 / 大門 裕子 / 中川 美和 / 小野 あゆみ / 生田 宴里 / 喜多下 真里
講義コード	1500453	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	341NUR302							

#### 授業概要

成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の身体的・心理的・社会的看護問題を理解し、看護援助を展開するために必要な基礎的知識、技術、態度を学ぶ  
ここでは、手術を受ける患者（模擬患者）への、術前から術後・回復期の看護過程の展開を試みることにより、生命の危機的状況における看護について考える

#### 到達目標

- 1) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、身体的・心理的・社会的看護問題を理解するために必要な知識を理解できる
- 2) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、看護過程の展開のために必要な情報を理解できる
- 3) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、周術期における生体の変化（侵襲・生体反応・回復過程）を理解できる
- 4) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、術後合併症の予防・早期発見・回復促進にむけた看護介入を理解できる
- 5) 成人期の健康危機的状況にある患者とその家族（重要他者）の、周術期におけるセルフケア充足のための援助を理解できる
- 6) チーム（グループ）としての自己の役割・責任の自覚がもてる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験40%と課題ノート20%、演習40%で総合的に評価します。 定期試験は課題ノートの持ち込みを許可します。
レポート課題	20%	課題ノート、その他。
上記以外	40%	演習40%は、グループでの看護計画20%と技術チェック10%、学生間のピア評価10%（グループ間評価5%、グループ内メンバー評価5%）とします。

グループワークを含む「演習」なので、参加が前提です。

#### 授業外学習

実習でも活用する「課題ノート」を作成することにより、前提となる知識の確認と予習復習をおこなってください。  
グループワークや技術練習など、自主的・計画的にすすめてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 健康 危機状況/セルフケアの再獲得	安酸 史子	メディカ出版	
2	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 周術 期看護	中島恵美子	メディカ出版	
3				

高齢者と成人の周手術期看護2 術中/術後の生体反応と急性期看護 竹内登美子 医歯薬出版

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ22 成人看護学 成 人看護学概論	安酸史子	メディカ出版	
2	高齢者と成人の周手術期看護2 術中/術後の 生体反応と急性期看護	竹内登美子	医歯薬出版	
3	周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応 から導く看護	鎌倉やよい	医学書院	

ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 江川隆子 ニューヴェルヒロカワ

#### 前提学力等

専門基礎科目、基礎看護学、成人看護学概論、成人看護学などで習得した知識と技術  
成人期の特徴および発達段階の理解

#### 履修資格





講義名	成人クリティカルケア実習						担当教員	生田 宴里 / 大門 裕子 / 荒川 千登世 / 中川 美和 / 喜多下 真里
講義コード	1500454	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号	341NUR305							

#### 授業概要

周術期における成人期特有の健康問題をもつ患者とその家族（重要他者）の身体的・心理的・社会的看護問題を理解し、看護援助を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。

#### 到達目標

- 1) 周術期にある患者の病態生理、手術治療や麻酔法とその影響、回復過程に関する基礎的理解ができる。
- 2) 周術期にある患者とその家族（重要他者）の心理的ストレス状況の理解と対処への働きかけが理解できる。
- 3) 急性期、回復期、社会復帰における患者とその家族（重要他者）の看護計画が立案できる。
- 4) 周術期にある患者とその家族（重要他者）の生命と権利を尊重した看護を実施できる。
- 5) 実施した看護に対して、客観的に評価できる。
- 6) 周術期の患者の援助をとおして、医療チームや学生グループにおける自己の役割・責任にもとづく行動がとれる。
- 7) 急性期の看護について、看護および看護に関連する概念や理論を活用し、論理的に洞察する。
- 8) 急性期にある患者とその家族（重要他者）の看護をとおして、自己の看護への思いを表現できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標について、下記項目から総合的に評価する。 1) 日々の看護実践（カフレスなどを含む）の状況

成績評価の詳細は、「成人クリティカルケア実習評価表」を参照すること。  
単位認定には、すべての到達目標で「レベル2（可）」以上を必要とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ 成人看護学「健 康危機状況/セルフケアの再獲得」	安酸 史子 他	メディカ出版	
2	ナーシング・グラフィカ 成人看護学「周 術期看護」	中島恵美子 他	メディカ出版	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシング・グラフィカ 成人看護学「成 人看護学概論」	安酸史子 他	メディカ出版	
2	周手術期看護2「術中/術後の生体反応と急性 期看護」	竹内登美子	医歯薬出版	
3	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過 程と看護診断	江川隆子	ヌーヴェルヒロカワ	

周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護 鎌倉やよい 医学書院

#### 前提学力等

3年前期までの専門科目（実習を含む）専門基礎科目における必須科目の単位をすべて修得

#### 履修資格



講義名	成人クロニックケア演習						担当教員	横井 和美 / 大門 裕子 / 中川 美和 / 小野 あゆみ / 生田 宴里 / 喜多下 真里
講義コード	1500455	単位数	1	開講期	後期	授業種別	演習	
ナンバリング番号	241NUR301							

#### 授業概要

成人期において慢性的な健康障害を持つ人々が、病いと治療・療養生活に折り合いをつけながら、その人らしく生きていくことを支援する方法について事例を通して学習し、実践のための基礎的な知識・技術・態度を習得する。また、療養生活を支援していく看護のさまざまな場面での役割を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 療養生活を自分なりに調整しながら慢性の病いと共に生きている患者・家族を全人的に理解する知識をもつ。
- (2) 慢性の病いと共に生きる患者・家族の療養生活を支える態度を養う。
- (3) 慢性の病いと共に生きる患者・家族の療養生活を支える技術を養う。
- (4) 慢性の病いと共に生きる患者・家族の療養環境の調整や地域生活への支援を理解する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	
レポート課題	40%	演習記録を含む
上記以外	10%	小テスト

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学 慢性期看護論 [第3版]	鈴木志津枝 藤田佐和 編集	NUVELLE HIROKAWA	978-4-86174-061-9
2	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 [第5版]	江川隆子 編集	NUVELLE HIROKAWA	978-4-86174-067-1
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル	黒江ゆり子 訳	医学書院	978-4-260-34172-1
2	これなら使える看護診断 厳選NANDA - 1 看護診断83	江川隆子 編集	医学書院	978-4-260-01846-3
3	NANDA-I看護診断定義と分類 2018-2020原書第11版	T.ヘザー・ハードマン / 上鶴重美 原書編集	医学書院	978-4-260-03443-2

江川隆子 編集 : これなら使える看護介入 厳選47 NANDA-I看護診断への看護介入 (第2版) (医学書院) ISBN978-4-260-01956-9

#### 前提学力等

本科目は、3年次(通年)の成人クロニックケア実習の前提科目です。

#### 履修資格



講義名	成人クロニックケア実習						担当教員	中川 美和 / 横井 和美 / 大門 裕子 / 生田 宴里 / 喜多下 真里
講義コード	1500456	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号	341NUR304							

#### 授業概要

成人期における慢性的な健康障害を持つ人々の健康問題に対して、身体・心理社会面を含めた包括的アセスメントを行い、その人が病いと療養生活に折り合いをつけながら、その人らしく生きていくことを尊重した看護実践力を習得する。また、患者の治療・療養生活の継続にあたって、患者の家族（重要他者）や療養環境についても理解を深め、慢性期看護のあり方を追究する。

#### 到達目標

1. 慢性的な健康問題をもつ患者とその家族（重要他者）を全人的に理解できる
2. 慢性的な健康問題をもつ患者とその家族（重要他者）の意思を尊重した援助的人間関係が樹立できる
3. 受け持ち患者の治療的管理と退院後地域での生活に向けた調整を考慮した個別的な看護計画が立案できる
4. 援助の目的・必要性を理解したうえで患者の意思とセルフマネジメント力を考慮した、安全かつ安楽な方法で看護を実施できる
5. 実施した看護に対して、受け持ち患者の在宅生活を見据えた客観的な評価ができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	10%	実習で行ってきた看護を踏まえて、文献や理論を用いて自分が行ってきた看護がどうだったか、患者理解をさらに深めてみてください
上記以外	90%	実習記録、実習実施状況

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性期看護論	鈴木志津枝	NOUVELLE HIROKAWA	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	成人看護学						担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子	
講義コード	1500465	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義		
ナンバリング番号	241NUR222								

#### 授業概要

成人期にある人々とその家族（重要他者）の健康問題について、クリティカル・クロニック・エンドオブライフの特徴をふまえて理解し、看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。  
乳がん患者の事例をとおり、各局面における看護を学ぶ。

#### 到達目標

- 1) 成人期にある人々とその家族（重要他者）の各局面（クリティカル・クロニック・エンドオブライフ）の特徴を理解できる。
- 2) 各局面の健康問題に対する援助のあり方について検討する。
- 3) 各局面の看護を展開するために必要な基本的知識・技術・態度を養う。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	
レポート課題	30%	
上記以外	10%	ミニレポート

各担当者（各局面）の評価点の合計を得点とする。ただし、各担当者（各局面）の6割を必要とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	成人看護学 慢性期看護論	鈴木志津枝 藤田佐和 編集	NUVELLE HIROKAWA	978-4-86174-061-9
2	経過別成人看護学 終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア	田村恵子	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3328-0
3	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 健康危機状況 / セルフケアの再獲得	安酸 史子	メディカ出版	

ナーシング・グラフィカ 成人看護学 周手期看護 中島 恵美子編 メディカ出版

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル	黒江ゆり子 訳	医学書院	
2	高齢者と成人の周手術期看護 2 術中 / 術後の生体反応と急性期看護	竹内登美子 編集	医歯薬出版	
3	ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断	江川隆子 編	ヌーヴェルヒロカワ	

周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護 鎌倉 やよい 医学書院

#### 前提学力等

成人看護学概論を履修している

#### 履修資格





講義名	卒業研究(人間看護)						担当教員	学科教員/大脳 万起子/横井 和美/ 古株 ひろみ/甘佐 京子/古川 洋子/ 伊丹 君和/米田 照美/牧野 耕次/
講義コード	1500580	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習	
ナンバリング番号	441NUR402							

#### 授業概要

学生個人が研究テーマを設定し、既習した知識を統合して、研究活動を実践する。

#### 到達目標

基礎的な研究方法や問題解決方法を学び、将来の研究活動の基盤となる研究に関する基礎の知識・技術を体得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	卒業研究で学習した研究成果(論文)により評価する

学習態度も評価項目に含む

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

卒業論文作成の手引きを配布します。研究スケジュールや論文作成の手順については、それを参照してください。

#### 前提学力等

3年次終了時において、3年次に習得しておくべき必修単位を全て修得しておくこと

#### 履修資格

講義名	卒業研究（人間看護）							担当教員	学科教員／大脇 万起子／横井 和美／古株 ひろみ／甘佐 京子／古川 洋子／伊丹 君和／米田 照美／牧野 耕次／
講義コード	1500580	単位数	4	開講期	通年研究	授業種別	演習		
ナンバリング番号	441NUR402								

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第2回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第3回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第4回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第5回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第6回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第7回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第8回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第9回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第10回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第11回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第12回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第13回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第14回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第15回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第16回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第17回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第18回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第19回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第20回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第21回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第22回	研究の実施	指導教員の助言を得て研究テーマを決定し、研究計画に従って研究を進める。
第23回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第24回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第25回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第26回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第27回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第28回	研究論文の作成	卒業論文の作成要領に従って論文を作成する。
第29回	研究発表会	研究成果の発表会を実施する
第30回	研究発表会	研究成果の発表会を実施する

担当者から一言

「看護研究の基礎」で習ったことを基に、研究を進めていくこととなります。「看護研究の基礎」の講義で配布された資料等をファイル等に整理して、必要に応じて持参するようにして下さい。

講義名	チャイルドライフケア論						担当教員	古株 ひろみ / 川端 智子 / 玉川 あゆみ
講義コード	1500732	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	441NUR323							

#### 授業概要

代表的な発達理論、各期の成長発達の特徴について知識を重ね、地域で生活している子どもの成長発達を促す科学的根拠に基づいた小児看護援助技術能力を育成する。特に、看護の基盤となる看護倫理と子どもの最善の利益を追求するケアについて考察する。

#### 到達目標

- (1) 子どもの権利を踏まえて自分なりの子ども観が説明できる。
- (2) 発達の理論を踏まえて、発達に応じた子どもの理解力が説明できる。
- (3) 発達や疾患の特徴を踏まえた個別性に応じたプレバレーションが実施できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	到達目標(1)については25%、(2)については25%で評価する
上記以外	50	到達目標(3)についてはプレゼンテーションにて(50%)で評価する

遅刻、早退は-2点/回で減点とする。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。  
ただし、欠格条件として、授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしないこととする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
2	小児看護学	濱中喜代	メディカルフレンド	
3				

適宜配布する資料を使用する

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

4年次の履修が望ましい。

#### 履修資格



講義名	人間看護学概論						担当教員	窪田 好恵 / 岩永 尊
講義コード	1500734	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	141NUR213-C							

#### 授業概要

看護の概念、保健医療福祉システムと看護の位置づけおよび役割について概観し、看護固有の価値と今後の展望について学ぶ。特に、看護の対象である人間を身体的および心理・社会的な側面から捉え、環境と相互作用しながら生活している統合的存在であることを理解する。人が人として生きることを支える看護の在り方を強調し、人間看護の意義を考察する。

#### 到達目標

- (1) 看護の対象である人間の健康を三側面から捉え、環境からの影響を受けていることを、生活場面を通して関係づける。
- (2) 看護の歴史的背景と看護教育制度について理解する。
- (3) 看護の概念について理解する。
- (4) 看護実践における法的基盤を理解し、医療安全の必要性に関連づける。
- (5) 医療・保健・福祉システムの概要を学び、看護の役割を理解する。
- (6) 地域（滋賀県）における医療機関の専門性と看護の特徴を知る。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70%	到達目標(2)(3)(4)(5)(6)について、レポート課題を課す。
上記以外	30%	到達目標(1)についてグループ発表の評価

欠席 1回で8点を減ずる。  
遅刻 3回で4点を減ずる。  
3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

毎回の授業の予習復習は必ず行っておくこと  
「看護覚え書」は通読しておくこと

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護学概論	茂野香おる他編	医学書院	
2	看護覚え書-看護であること看護でないこと-(第7版)	フローレンス・ナイチンゲール：湯橋ます他訳	現代社	
3				

参考資料は適宜配布または紹介する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン：湯橋ます他訳	日本看護協会出版会	
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	人間看護学統合実習						担当教員	窪田 好恵 / 米田 照美 / 学科教員	
講義コード	1500742	単位数	2	開講期	前期実習	授業種別	実習		
ナンバリング番号									

#### 授業概要

基礎分野、専門分野で学習した知識、技術、態度を統合し、臨床の実践に近いかたちで看護を提供する方法を学び、看護実践能力を身につける。

#### 到達目標

- 1) 看護管理の視点から看護サービスマネジメントの実際を見学し、病院・看護部および看護単位の組織や役割を考察できる。
- 2) 病院における医療安全部門・感染管理部門の活動、専門看護師・認定看護師の活動について見学し、組織の中で、それらの役割を考察できる。
- 3) 看護師長、副看護師長（主任）、チームリーダーの病棟や外来での業務の実際を見学し、看護サービスマネジメントのあり方、リーダーシップ、管理者の役割について考察できる。
- 4) 複数の患者を受け持つ看護師の業務を見学し、ケアに参加することで、ケアマネジメントのあり方、メンバーシップ、継続看護（24時間）について考察できる。
- 5) 他職種との協働・連携を見学し、チーム医療・地域連携のあり方を考察できる。
- 6) 未経験の看護技術を明確にし、自発的に実践できる。
- 7) 高齢者看護の見学および参加を通してQOLを尊重した生活援助のあり方を考察できる。（Bグループ）

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	実習要項の評価表を参照
上記以外	80%	実習要項の評価表を参照

- 次の項目に基づき総合的に評価し、単位認定を行う。
1. 実習目標への到達度（援助技術到達度を含む）80%
  2. 課題レポート 20%

#### 授業外学習

4年間の総まとめとしての実習です。また、卒業後に就職する臨床の理解にもつながりますので、積極的に実習に臨んでください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

実習オリエンテーション時に「人間看護学統合実習要項」・資料を配布する

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

- ・3年次後期の必修科目および、3年次までの実習単位をすべて修得していること
- ・看護管理学または看護管理論を履修していること

#### 履修資格





講義名	ボランティア実践演習						担当教員	伊丹 君和 / 米田 照美 / 関 恵子 / 千田 美紀子
講義コード	1500841	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	演習	
ナンバリング番号	441NUR333							

#### 授業概要

ボランティア活動は、人とのつながりのプロセスを学ぶ機会となる。看護を学ぶ学生にとって、人と関わるボランティア活動を体験することは、豊かな感性を育むとともに、コミュニケーション力、企画力、看護力を向上させることにもつながる。ボランティア実践演習では、ボランティアの基礎知識やボランティア活動を行うにあたっての心構えやマナーを学ぶとともに、実際にボランティア実践を行う中で、「誰もが心も身体も健康に生活できる社会」を支えるために自分に何ができるのかを考える。

#### 到達目標

- (1) ボランティア実践を通して学んだことを説明できる。
- (2) ボランティア実践の学びを通して、看護学生として何ができるか考察できる。
- (3) 「誰もが心も身体も健康に生活できる社会」を支えるために自分に何ができるかレポートできる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	目標に沿って課題レポート (1)実践活動レポート30% (2)課題レポート35%
上記以外		

\* 学内外問わず、原則として遅刻・早退 - 4点 / 回、欠席 - 8点 / 回 とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ホリスティックケア論						担当教員	糸島 陽子 / 横井 和美 / 甘佐 京子 / 古川 洋子 / 荒川 千登世 / 関 恵子
講義コード	1500842	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	441NUR324							

#### 授業概要

ホリスティックケアの世界観・人間観について理解した上で、代表的な代替補完療法の技術を学び、看護師だけでなく保健師、助産師の実践的な看護に生かす方略について検討する。

#### 到達目標

- (1) ホリスティックケアの世界観・人間観について理解できる。
- (2) 代表的なホリスティックケアについて理解できる。
- (3) 文献・フィールドワークをとおして、ホリスティックケアを看護に活かす方略について探求できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	目標(1) 30% 目標(2) 30% 目標(3) 40%
上記以外		

#### 授業外学習

各講義内容に関する論文を1編以上クリティークして、講義に参加する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義時に紹介します

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	精神看護学						担当教員	牧野 耕次 / 甘佐 京子 / 下通 友美
講義コード	1500844	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR230							

#### 授業概要

精神疾患の基礎知識となる精神症状とその対応、および精神疾患の概念・治療について学ぶ。また、コミュニケーション技法を中心に精神領域における様々な関連技について学習する。その一端として、患者を支える家族の状態をアセスメントする方法を学び家族心理教育についても理解を深める。さらに、精神医療・保健・福祉に関連した法律と患者の権利擁護について、その在り方を考える。

#### 到達目標

1. 精神看護領域で活用される関連技法について理解する
2. 治療的コミュニケーション技術についてその意義と活用の実際について学ぶ
3. 精神症状を持つ患者・家族の理解とその対応について学ぶ。
4. 精神科医療における患者の権利擁護について考えることができる。
5. 精神科領域における治療とそれにかかわる看護について理解する

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	毎回授業終了時に、本日の授業内容に関する感想や質問をレスポンスペーパーに記述して提出。内容は、授業内容に応じたものであること。
上記以外		

レスポンスペーパーの未提出(理由なく)：1回につき総得点より5点減点

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学	萱間真美 野田文隆編	南江堂	978-4-524-25764-5
2	精神看護学	萱間真美 野田文隆編	南江堂	978-4-524-25763-8
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学	出口禎子 松本佳子 鷹野朋美編	メディカ出版	4-8404-5383-7
2	異和感と援助者のアイデンティティ	宮本真巳	日本看護協会出版会	4-8180-0487-1
3	思いやりの人間関係スキル	R・ネルソン・ジョーンズ	誠信書房	4-414-30274-9

授業中に資料を配布

#### 前提学力等

「精神保健論」・「精神看護学概論」を履修していることが望ましい。  
「疾病論」を同時期に履修することが望ましい。

#### 履修資格



講義名	精神看護学演習						担当教員	下通 友美 / 甘佐 京子 / 牧野 耕次
講義コード	1500845	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

精神領域の臨床現場で直面する看護現象へ介入・参加できるように、精神保健看護学、精神臨床看護学等の知識の統合を図る。加えて、患者を支える家族側の問題・力量をアセスメントする方法を学習し、家族への心理教育についても理解を深める。演習のまとめでは、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例を用いた模擬看護過程を実施する。  
また、精神障がいを持つ人の地域生活への移行に向けた援助や地域生活の場でどのような支援を受けているのかについても理解する。

#### 到達目標

1. 精神領域の臨床現場で直面する看護現象へ介入・参加できるように、精神保健看護学、精神臨床看護学等の知識の統合を図ることができる。
2. 臨地実習に向けて、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例を用いた模擬看護過程を展開することができる。
3. 精神障害を持つ人の地域生活支援について理解できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	本科目の到達目標を達成するために授業の中から、精神臨床看護学、セルフケア理論の知識、精神症状のアセスメントに関する知識、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例などに関する問いに対して、解答することができる。
レポート課題	30	小テスト(10%) 精神領域の臨床現場で直面する看護現象へ介入・参加できるように、精神保健看護学、精神臨床看護学等の知識の統合を図ることができる。具体的には、第7回の授業から出題する。
上記以外	20	グループワーク課題(10%×3課題) 臨地実習に向けて、統合失調症患者、躁うつ病患者、摂食障害患者等の事例を用いた模擬看護過程を展開することができる。具体的には、グループ課題に従って、資料を作成し、発表し、質疑応答できる。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学 学生・患者のストーリーで綴る実習展開	田中美恵子	医歯薬出版株式会社	
2				
3				

1、2回生で使用した教科書

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

精神保健論、精神看護学概論、疾病論、精神看護学で学んだ内容に関して理解していること

#### 履修資格





講義名	精神看護学実習						担当教員	牧野 耕次 / 甘佐 京子 / 下通 友美
講義コード	1500846	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

これまでに習得した精神看護に必要な知識・技術・態度を実際場面に応用し、理論と実践を統合した看護活動を展開する。

#### 到達目標

- 1) 精神的疾患や精神的問題を抱える人のありようを、オレム=アンダーウッドによるセルフケア理論等の理論をとおして理解できる。
  - 2) 時間の流れの中における生活者としてのその人を理解できる。
  - 3) 対人関係モデルや対人関係形成技術を用いて患者 - 看護師関係の形成およびその評価ができる。
  - 4) 看護過程モデルに従い、精神疾患や精神的問題を抱えるその人のありように応じた看護過程の展開ができる。
  - 5) 精神科治療機関や地域で行われている保健・医療・福祉アプローチを理解できる。
  - 6) 地域で行われる保健・医療・福祉アプローチの実際を理解できる。
- 精神疾患や精神的問題を抱える人が利用可能な地域の社会資源（保健所・障害者自立支援事業所等）の活用について知る。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		上記の到達目標（実習目標）にそって、実習記録（精神看護学演習評価表）を用いて評価する。 詳細は、実習要項に掲載している。

#### 授業外学習

事前学習（実習要項、精-2ページ）  
1) 代表的な精神科疾患とその治療について

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学実習 第2版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開	田中美恵子	医歯薬出版株式会社	4263236734
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

--

#### 履修資格

--



講義名	精神看護学概論						担当教員	甘佐 京子
講義コード	1500847	単位数	1	開講期	前期後半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR229-C							

#### 授業概要

精神看護領域で用いられる看護理論について学習し、精神看護の基本的概念を理解する。また、国内外の精神医療・看護の歴史の変遷を知ることによって精神疾患に対するスティグマの存在を理解するとともに、地域社会(滋賀県内の現状も含む)における支援の実際についても理解を深める。

#### 到達目標

1. 精神看護の基本概念を理解する
2. 精神看護で使われる理論をもとに看護の対象理解を学ぶ
3. 精神医療福祉の歴史の変遷をもとに、精神疾患に対するスティグマについて理解する。
4. 精神医療・看護の課題について考えるとともに、滋賀県内における精神医療福祉の現状を学ぶ

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	30	レスポンスペーパーを毎回提出
上記以外		

1単位7.5回の授業構成であるため、1/3(3回)以上欠席した場合評価の対象としない。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護学	吉松和哉 編	ヌーベル廣川	978-4-86174-064-0
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その他、資料配布在り

#### 前提学力等

精神保健論を履修していることが望ましい

#### 履修資格



講義名	薬理学						担当教員	土田 勝晴 / 竹内 孝治 / 武井 義則
講義コード	1500941	単位数	2	開講期	前期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR206							

#### 授業概要

生体は通常、自分自身の恒常性維持機能により、健康な状態を維持している。恒常性が保てない状況に陥った時、それを是正する目的で薬物を使用する。この講義を通して、薬物の投与方法、吸収、分布、効果発現様式、作用メカニズム、副作用、排泄に至る一連の薬物作用について学習するが、これは同時に生体調節機構、病態等に関しても理解を深めることに通じている。

#### 到達目標

薬理学の基本概念を学び、薬物の疾病治療への応用と、予防のため使用される薬物の作用、副作用について理解することを目標とする。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

各回の講義終了ごとに、教科書付属の整理ノートのポイントを読み、確認問題を解いて復習をすること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	わかりやすい薬理学 第3版	安原一・小口勝司ら	ヌーヴェルヒロカワ	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	はじめの一步 イラスト薬理学	石井邦雄	羊土社	
2	薬がみえる		メディックメディア	
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	老年看護学概論						担当教員	平田 弘美
講義コード	1500991	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR223-C							

#### 授業概要

「古い」や「加齢」とは何かを考え、高齢者の身体的・心理的・社会的変化を知る。老年看護に活用できる概念・理論、高齢者を取り巻く社会や社会制度について理解を深める。

#### 到達目標

- (1) 「古い」や「加齢」とは何かを考察し、述べることができる。
- (2) 老年期における身体的・心理的・社会的変化を理解できる。
- (3) 高齢者を取り巻く地域・社会や社会制度について理解できる。
- (4) 老年看護に活用できる概念・理論について理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	65	添付ファイル参照
レポート課題	15	添付ファイル参照
上記以外	20	レスポンスペーパー10%、グループワーク・発表10%

#### 授業外学習

レポート課題

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	老年看護学概論	真田弘美・正木治恵	南江堂	
2	高齢者の健康と障害	堀内ふき 他	メディカ出版	
3	国民衛生の動向			

授業中にプリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	老年看護学						担当教員	未定*
講義コード	1500997	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号	241NUR224							

#### 授業概要

高齢者の生理的・身体的変化や高齢者に特有な疾患・症状に対する援助方法を理解し、健康問題をもつ高齢者の看護過程展開方法を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 高齢者の生理的・身体的変化を理解できる。
- (2) 高齢者に多い疾患とその特徴を理解できる。
- (3) 健康障害をもつ高齢者の援助方法について理解できる。
- (4) 健康問題をもつ高齢者の看護過程展開方法について理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	小テスト40%, 期末試験35%
レポート課題	20	看護過程15%, 疑似体験レポート5%
上記以外	5	グループワーク・発表5%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高齢者看護すぐに実践トータルナビ	岡本充子 他	メディカ出版	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

#### 前提学力等

老年看護学概論を履修していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	老年看護学演習						担当教員	岡崎 瑞生 / 平田 弘美 / 松井 宏樹
講義コード	1500998	単位数	1	開講期	前期	授業種別	演習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

高齢者の特性をふまえて、健康問題に応じた援助方法を幅広く考えられるように学習を進める。加齢や健康障害が生活に及ぼす影響をとらえ、高齢者の生活の質を考えた援助方法について、主体的に追求し、効果的な老年看護の実践を展開する姿勢を養う。

#### 到達目標

- (1) 高齢者の対象特性と加齢および健康障害による日常生活への影響を理解し、必要な看護について説明することができる。
- (2) 高齢者の健康上の問題を明らかにするために必要なヘルスアセスメントの技法について習得できる。
- (3) 高齢者の事例について、健康問題、生活機能などを総合的にアセスメントして個別性を踏まえた看護計画を立てることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	筆記試験
レポート課題	50	看護過程 演習時の小テスト
上記以外	10	看護計画発表

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高齢者看護すぐに実践トータルナビ	岡本充子・西山みどり	メディカ出版	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ナーシンググラフィカ老年看護学 高齢者看護の実践	堀内ふき ほか	メディカ出版	
2	老年看護学技術最後までその人らしく生きることを支援する	真田弘美 ほか	南江堂	
3	認知症ケアガイドブック	日本看護協会	照林社	

授業中に資料を配布する

#### 前提学力等

老年看護学に関する科目を履修していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	老年看護学実習						担当教員	岡崎 瑞生 / 松井 宏樹
講義コード	1501032	単位数	1	開講期	通年実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号								

#### 授業概要

老人保健施設の入所フロアや通所リハビリ（デイケア）での実習を通して、老化や障がいが高齢者の日常生活に及ぼす影響について学ぶ。また、高齢者ケアに携わるスタッフの役割やその連携について理解を深める。

#### 到達目標

- (1) 高齢者の身体的・心理的・社会的老化の特徴を理解する。
- (2) 老化や障がいが高齢者の日常生活に及ぼす影響について理解する。
- (3) 高齢者ケアに携わるスタッフの役割やその連携について理解を深める。
- (4) 長い人生を生きてきた高齢者を尊重した姿勢・態度で関わるができる。
- (5) 積極的な態度で実習に取り組むことができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標1(観察・記録40%) 到達目標2(観察・記録20%) 到達目標3(観察・記録10%)

#### 授業外学習

事前に以下の内容を復習し、実習に臨む。  
高齢者の加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴を復習しておく。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で使用了教科書や資料、参考図書など

#### 前提学力等

3年次前期までの必修科目を修得していること。

#### 履修資格



講義名	老年看護学実習							担当教員	岡崎 瑞生 / 松井 宏樹		
講義コード	1501042	単位数	2	開講期	通年実習	授業種別	実習				
ナンバリング番号											

#### 授業概要

医療施設に入院する高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。健康問題を持つ高齢者の特徴を理解し、高齢者とその家族の状況に応じた看護実践の知識、技術および態度を学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 高齢者の健康状態および家族の個別性に合わせた看護過程が展開できる。
- (2) 医療施設における看護師の役割・機能が表現できる。
- (3) 対象および家族に対して、尊重した態度がとれる。
- (4) 専門職にふさわしい態度がとれ、行動ができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標 1 (観察・記録65%) 到達目標 2 (観察・記録5%) 到達目標 3 (観察10%)

#### 授業外学習

事前に以下の内容を復習し、実習に臨む。  
老年看護学概論、老年看護学、老年看護学演習で学んだ内容の復習をしておく。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で使用した教科書や資料、参考図書など

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

3年次前期までの必修科目を修得していること。

#### 履修資格





講義名	地域生活実習						担当教員	古株 ひろみ/馬場 文/川端 智子/ 小林 孝子/玉川 あゆみ/川口 恭子/ 森本 安紀/河野 益美/松井 宏樹/
講義コード	1501043	単位数	1	開講期	前期実習	授業種別	実習	
ナンバリング番号	141NUR233							

#### 授業概要

地域で生活しているさまざまな健康状態にある子どもから高齢者までの人々との交流を通して、看護の対象である「人間」への興味を育み、理解を深める。

#### 到達目標

- (1) 地域で生活するさまざまな発達段階にある人々の「生活」について考える。
- (2) 地域で生活する人々に対する「看護」の役割について考える。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	小児看護学領域評価点：30% 老年看護学領域評価点：30% 公衆衛生・在宅看護学領域：30%

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。遅刻・早退は-15点の減点とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

